

# 教育委員会

## 1 佐賀市教育振興基本計画

佐賀市教育委員会では、佐賀市ならではの教育施策を進めていくためには、0歳から義務教育修了時の15歳までの「子どもの育ち」を念頭に入れた中期的な視点で教育の方向性を定める必要があるとの認識のもと、平成18年3月、初めての中期的な計画（5年間）である「佐賀市教育振興基本計画」を策定した。

その後、平成23年4月に「第2次佐賀市教育振興基本計画」を、平成27年4月には「第3次佐賀市教育振興基本計画」を策定して、将来を展望した教育施策を総合的に推進してきた。

令和元年度で「第3次佐賀市教育振興基本計画」が最終年度となることから、これまで実施した様々な成果と課題を検証した上で、上位計画である第2次佐賀市総合計画を踏まえながら、佐賀市の教育行政の基本的な方向性を示す「第4次佐賀市教育振興基本計画」を令和2年3月に策定し、今後5年間の取組を推進していく。

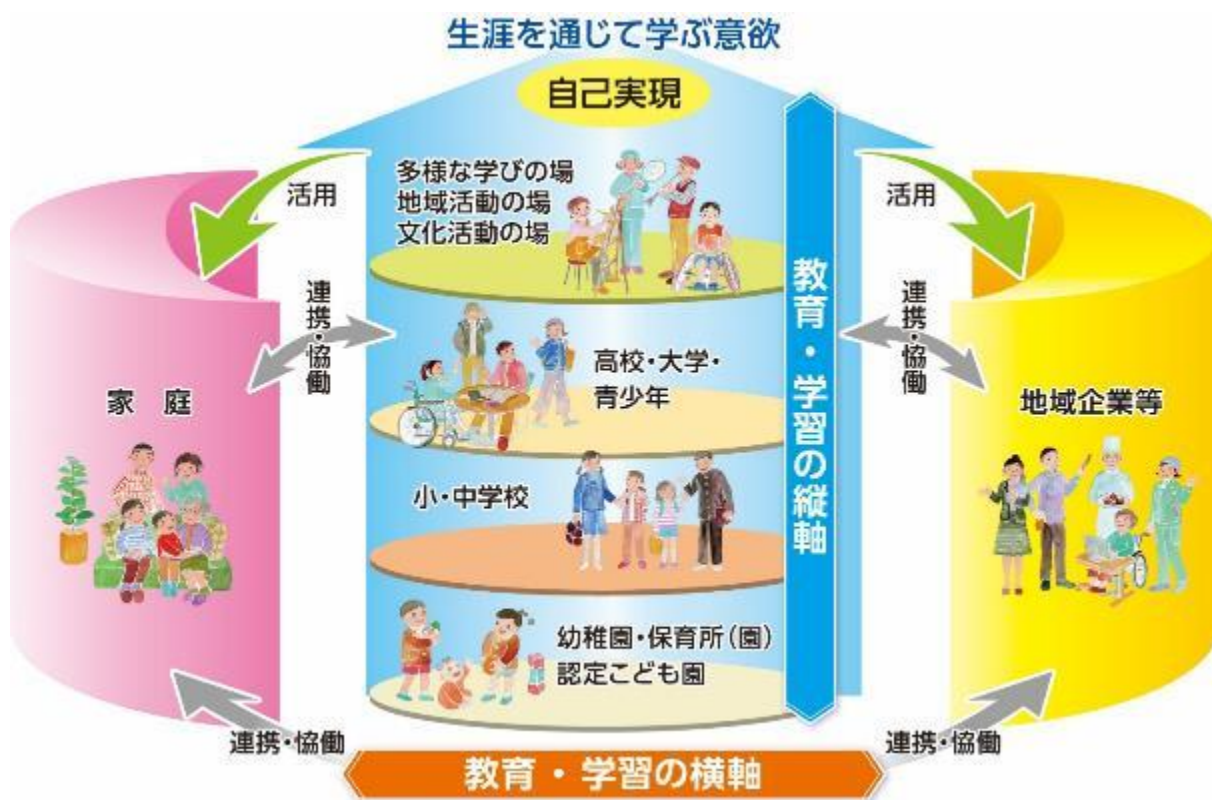
### (1) 佐賀市教育振興基本計画の「基本目標」「基本方針」

**基本目標** ふるさと「さが」を協働でつくる個性と創造性に富む人づくり

**基本方針** ◇教育・学習の縦軸をつなぐ

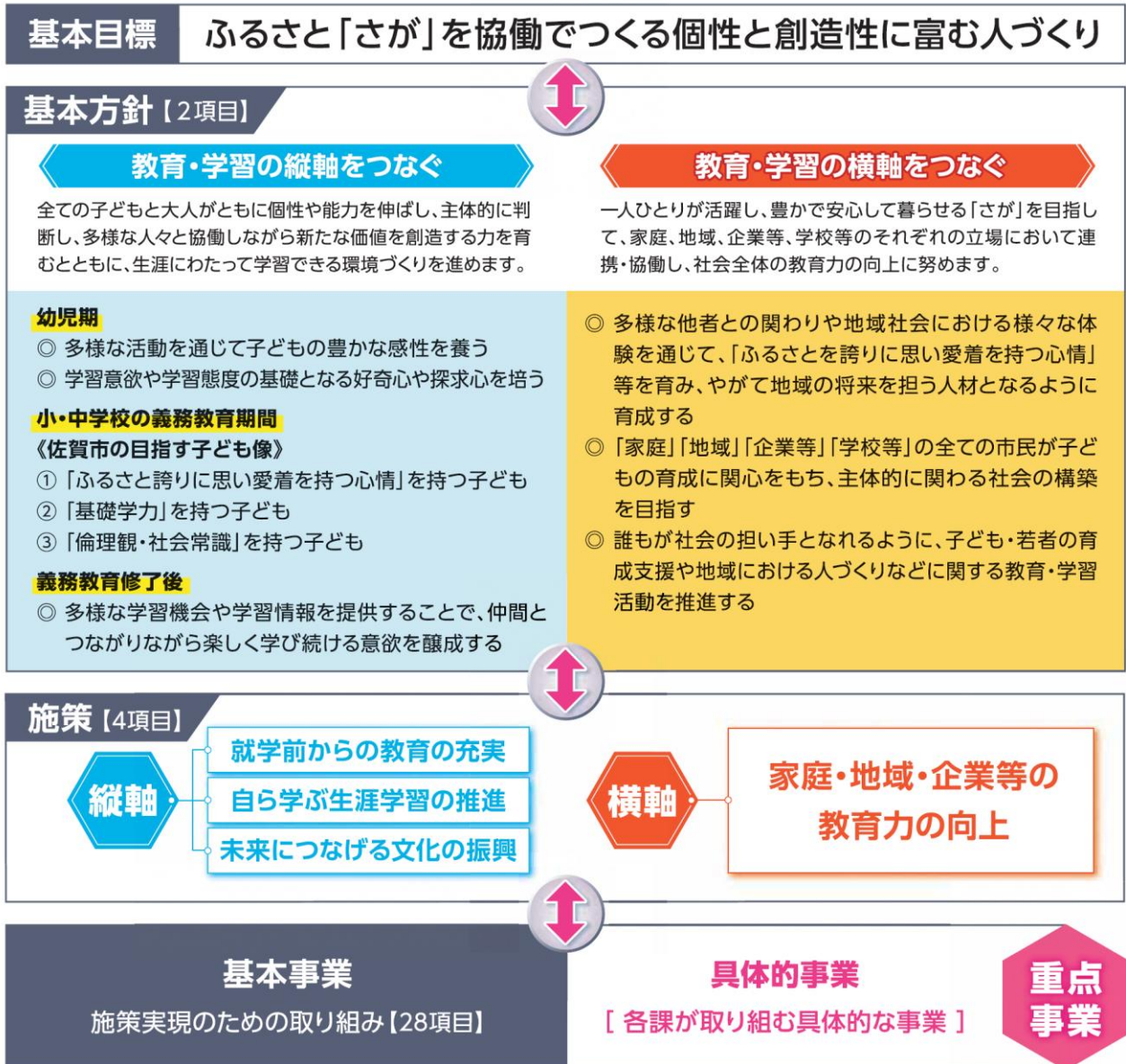
◇教育・学習の横軸をつなぐ

### 基本目標 ふるさと「さが」を協働でつくる個性と創造性に富む人づくり



## (2) 佐賀市教育振興基本計画の「施策の展開」

佐賀市教育委員会では、基本目標に掲げる『ふるさと「さが」を協働でつくる個性と創造性に富む人づくり』を実現するため、「教育・学習の縦軸をつなぐ」、「教育・学習の横軸をつなぐ」という2つの基本方針を設定し、その基本方針を達成するために4項目の「施策」を掲げ、体系的に施策を展開していくことにより、基本目標の実現を図る。



## 2 教育長・教育委員

役職名	氏名	職業	就任年月日	委員現任期
教育長	東島 正明	教育長	H21.11.5	H29.11.5 R2.11.4

※任期3年で再選されることができる。

役職名	氏名	職業	就任年月日	委員現任期
委員 (教育長職務代理者)	伊東 健児	元会社役員	H24.11.5	H28.11.5 R2.11.4
委員	片岡 優理	弁護士	H28.11.5	H28.11.5 R2.11.4
委員	堤 和義	会社員	H29.11.5	H29.11.5 R3.11.4
委員	小川 鮎子	短期大学教授	H30.7.1	R元.11.5 R5.11.4
委員	吉村 純子	保護者	H30.11.5	H30.11.5 R4.11.4

※任期4年で再選されることができる。

### 3 就学後からの教育の充実

#### (1) 義務教育の充実 5-2

##### ① キャリア教育推進事業

現行教育課程で重視されている小学校における商業体験（キッズマート）や職業教育、中学校における職場体験を通じた職業観教育や進路学習などの「キャリア教育」の充実を図るための支援を行う。NPO法人と連携し、学校におけるカリキュラム作成や、商業体験、職場体験における地域企業とのコーディネートを行い、キャリア教育を支援する。

令和元年度実践校	キッズマート	勸興小、循誘小、神野小、松梅校（小）、春日小
	職 場 体 験	成章中、城南中など 18 校（11 校）※
	インタビュー	北川副小、新栄小

※（ ）内は、特定非営利活動法人鳳雛塾の直接支援校数

##### ② A L T の活用推進

中学校については、外国語指導助手（A L T）を配置し、生徒が英語を母国語とする者、または同等の能力を有する者から直接語学指導を受けて、生きた英語を学ぶ。また、小学校では、3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語において直接語学指導を受けて、国際理解教育に役立てる。

##### ③ 各種大会出場助成

学校教育の一環として行っている部活動等で全国及び九州規模の各種大会に出場する児童生徒に対し、遠征費用の一部を補助金として交付し、保護者の負担軽減と競技力・技術力の向上を図る。

##### ④ 早稲田・佐賀 21 世紀子どもプロジェクト

早稲田大学との連携により、21 世紀の日本を担う人材の育成を図る。  
市内在住の中学生を対象とした出前講座や教職員講座、大隈重信をテーマにしたスピーチコンテスト等を開催することにより、子どもたちが大隈重信やふるさと佐賀への理解を深め、郷土の良さを見直す機会や、教職員の資質向上の機会を提供する。

##### ⑤ 支援指導員派遣事業

様々な理由により子どもの教育に支障をきたす教員を抱える学校へ市費の臨時職員（教員免許を持つ者）を派遣し、子どもの指導の補助にあたらせる。

##### ⑥ 学校問題解決サポート事業

教育委員会で学校問題解決サポート事業体制を整備し、関係機関や専門分野と連携して、学校問題（問題行動・いじめ・不登校・体罰・トラブル等）の未然防止・対策・解決を図る。また、スクールサポーター（警察官 O B）を学校に配置し、児童生徒の相談・指導を行う。

##### ⑦ 学校災害共済・賠償補償保険給付事業

（独）日本スポーツ振興センター災害共済給付制度（児童生徒対象）及び全国市長会学校災害賠償補償保険に加入することにより、学校におけるケガや事故に備え、学校教育、学校業務の円滑な推進を図る。

⑧ ふるさと学習支援事業

佐賀市を学ぶ「ふるさと学習」を支援することを目的とし、バス借り上げにかかる費用を助成する。子どもたちに豊かな自然や文化的・歴史的遺産を体験できる機会や先人にまつわる施設・名所を見学する機会を提供することにより、ふるさとを愛し佐賀を誇りに思う心をはぐくむ。

⑨ 環境教育の推進（主管：環境政策課）

小中学校における環境教育を推進するために、環境政策課と連携し、各学校の環境教育の現状を把握し、研修などを通して学校支援を行う。

⑩ 学校版環境 I S O の取り組み（主管：環境政策課）

児童生徒と教職員が環境について考え、環境保全を実践し、環境にやさしい学校マネジメントシステムを目指す取り組みを行う。

平成 14 年度に佐賀市と佐賀市教育委員会が設けた「学校版環境 I S O 制度」により、各学校が独自に作成した実行計画をもとに取り組む。

⑪ 学校経営方針の明確化と学校運営の改善

個性を活かした特色ある開かれた学校づくりを推進するため、各学校では、教育目標を分かりやすく示すとともに、より具体化した教育計画の策定に努める。教育目標を具現化するために、各学校では、学校運営組織の見直しに取り組み、組織としての機能の充実に努める。

また、各学校の経営方針や教育活動を保護者や地域の方々に十分に理解していただくために、平成 14 年度から学校毎にパンフレットを作成し、配布している。

⑫ 到達度等調査研究事業

市立小学校の児童の学習到達度や学習状況等を調査・分析し、指導法改善や児童理解に活かす。また、児童生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と学級経営の方針を把握できる標準化された心理テストを実施し、学級経営に役立てることで学力向上の取り組みを行う。

⑬ 教育委員会マネジメント事業

教育委員会が、教育行政のリーダーシップをとるための体制づくりを行う。また、教育行政への理解と関心を高めるために教育情報の提供の充実を図る。

⑭ 小中学校のマネジメント支援事業

学校の独自性を高める教育活動に関わる事業について学校長からの申請を受け付け、申請に基づいて教育長が査定を行い、学校長の目標とする特色ある学校運営に資すると認められたものについて事業費を配分し、各学校が申請内容に沿った事業を実施する。

[申請事業の主な内容]

◇ 学校目標の実現のための学校の強みの強化、弱みの補強を図る事業

◇ 学校経営方針に基づき、一定の期間計画的に実施することで特色化を図る事業

◇ 全国学力・学習状況調査などの結果をもとに取り組む、学力向上を図る事業

◇ 地域との連携による地域に開かれた特色ある学校づくり又は地域人材を活用した授業や活動を行う事業

◇ 小中連携事業に係る経費を支援するもの

⑮ 学校評議員等活用事業

学校の教育課題や教育活動について、保護者や地域住民等の意向を把握し反映させるため、赤松小、北川副小、西与賀小、大詫間小、城南中、松梅校、富士校に15名程度の「学校運営協議会委員」を、他の41校（芙蓉校、北山校、三瀬校は小中合同で配置）においては、原則として各校5名の「学校評議員」を選び、教育委員会が委嘱する。学校では、校長が年3回程度、学校評議員の意見を反映させるための会議の開催や、個別に意見を述べてもらう場を設定する。また「学校関係者評価」の評価者として、学校自己評価に対する意見や改善策等を述べてもらい、今後の学校運営に活かすとともに、学校と地域・保護者をつなぐ役割を担う。

#### ⑩ 学校外部評価システムの充実

校長、教職員、児童生徒、保護者による自己評価に加えて、保護者、地域住民、学校評議員等による学校関係者評価を全校で実施し、評価を生かした信頼される学校づくりを目指す。

#### ⑪ 教育委員会の評価制度

教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、評価委員会を設置し、教育委員会による自己評価に加え、評価委員会による第三者評価を行い、事業の継続的な改善を図っていく。（佐賀市教育委員会では平成19年度事業実施分から毎年実施している。）

また、教育政策市民満足度調査結果を施策に反映させることで、市民の意見を反映した教育施策を進めていく。

#### ⑫ 学校事務改善事業

教員の事務負担を軽減することで、学校経営管理時間を創出し教育の質の充実を図ることを目的に、学校事務共同実施協議会を設置し市内10ブロックで学校事務の共同実施を行う。また、学校事務や教育活動を円滑に進めるための支援をする。

#### ⑬ 教科等研究会研究委託事業

本市教育における課題解決のために、学校内の研修だけでなく、学校を超えて各教科等部会を組織する。そしてそれぞれの教科で新学習指導要領の趣旨を踏まえた喫緊の教育課題について研究テーマを設定し、事例研究や授業研究会を実施して研究協議を行い、指導方法の工夫・改善及び指導内容の充実を図るなど、学校教育の一層の充実を図る。

#### ⑭ 研究指定校委嘱事業

本市教育の推進に関する研究を学校に委嘱し、教育課題の解明に努め、本市教育の発展を図る。佐賀市研究委嘱校の指定（原則2年間）を行い、その成果を研究発表等で広く公開する。また、国や県の研究指定も併せて行い、教職員のより一層の資質向上を目指す。

#### ⑮ 佐賀市教育研究所運営事業

教育界の動向及び児童生徒の喫緊の課題や実態等を的確に捉えた調査・研究、情報・資料の収集・提供・広報等を行う。特に、市の課題に対しては、外国語活動・外国語部会、プログラミング教育部会を組織し、顧問を2名、所員を17名委嘱して年間7回程度の研究所員会を開催し、研究・検討を深めていく。その成果については、研究授業・授業研究会の開催、電子データの活用によって広く公開する。

#### ⑯ 学校ミーティング（教育長を囲む会）開催事業

教育長と教育現場職員の対話の機会をつくり、教育現場職員の意見を広く求め、学校と教育委員会の相互理解を深めて今後の教育施策に反映することを目的とした学校ミーティ

ング（教育長を囲む会）を開催している。

令和元年度実施	対象校
	全小・中学校長・教頭・事務長・主幹教諭・教務主任・教諭を対象に5回開催

㉓ 学校フリー参観デーの開催

市内各小中学校において、年間2回実施する。開かれた学校づくりの一環として、授業や給食など教育活動の参観を児童生徒の保護者だけでなく広く市民にも公開し、佐賀市の教育に対する理解促進を図る。

令和元年度 参観者実績	第1回目（7月）	第2回目（秋）
	17,741人	20,377人

㉔ 小中一貫（連携）教育推進事業

学校と教育委員会が協働して、多様化する小中9年間の子どもの「育ちと学び」の連続性に沿った教育の研究を行う。

令和元年度 採択校（校区）	事業内容
富士校	豊かな心をはぐくみ、確かな学びをつなぐ学習集団づくり～ユニバーサルデザイン教育の視点を取り入れた分かる授業の研究～

㉕ コミュニティ・スクール推進事業

学校と教育委員会が協働して、地域の住民や保護者等の学校運営への参画、支援及び協力を促進し、子どもたちの豊かな学びを育ちの創造を目指した。

令和元年度 採択校（校区）	事業内容
西与賀小	地域・家庭と共に歩む学校づくり～開かれた学校・教育課程づくりの推進～
松梅校	地域・家庭・学校がともに高め合うコミュニティ・スクールプロジェクト
富士校	地域を担う夢に向かって伸びゆく『富士っ子』を育成するコミュニティ・スクール～小中一貫教育の取組を通じた地域とともにある学校づくり～

㉖ 生徒会活性化事業

佐賀市教科等研究会特別活動部会との協働で、中学校リーダー研修会を開催し、子どものリーダー性を伸ばすとともに、生徒会が自分たちで企画・立案・実行する中学校パワーアッププラン事業を行い、生徒会活動・中学校の活性化を図る。

㉗ 学校職員安全衛生管理事業

市立小中学校の安全衛生管理体制を整備し、教職員の安全の確保及び健康の保持を行う。各学校は衛生・健康管理委員会を、教育委員会は学校総括安全衛生委員会を開催し、職員の健康保持増進に関することを協議する。また、精神科医によるカウンセリングやストレスチェック、教職員対象の研修会を実施する。

㉘ 学校業務改善推進事業

教職員の多忙化解消のための業務改善策を検討・実施し、事務負担軽減を図り、児童生徒と接する時間の確保及びきめ細かな教育指導の充実につなげる。

②⑨ 教職員用情報機器整備事業

校務の情報化、情報共有を推進するため、小・中学校の校務サーバー及び教職員 1 人 1 台整備したパソコン並びに校務管理システムの維持管理及び運用を行う。また、学校ヘルプデスクを配置し、情報機器の運用支援及び障害対応を行う。

③⑩ 小・中学校運営経費

学校の運営や施設の管理に要する経費（消耗品費、燃料費、光熱水費、備品購入費、修繕料、検査手数料、警備ほか施設管理委託料、原材料費等）において、各学校の実情に応じた予算編成を行うことで、自主・自律性が発揮できる学校運営を図っている。なお、必要な物品の購入や光熱水費の支払い等において、一括して取り扱うほうが効率的な場合は、教育委員会学事課で取りまとめたうえで処理を行っている。

③⑪ 小・中学校教材整備事業

一般教材や音楽教材、体育教材など学校の授業に必要な教材の整備や副読本の作成を行い、学校教育の振興及び教育の向上を図っている。

学校独自の判断を取り入れ、各学校の実情や教育計画に応じた予算編成を行いつつ、備品や印刷物の購入において、共同購入した場合にメリットがあるものについては教育委員会学事課で一括購入を行い、経費の削減に努めている。

③⑫ 理科教育振興事業

小中学校の理科の授業に必要な備品を整備し理科教育の振興を図っている。理科教育振興法の設置基準に定められている設備を整備する場合、その設備に要する費用の 2 分の 1 を国が補助する。隔年で、小学校と中学校を整備している。

③⑬ 部活動指導員活用研究事業

部活動顧問教員等の多忙化対策及び技術サポートを目的とした部活動指導員を配置することによる効果の実践研究を行う。

**(2) 学校体育の推進** 5-5

① 学校体育の充実

体育・スポーツ活動を通して、健康で明るい生活を営み、健康の保持増進、体力の向上を図っていくための正しい理解と望ましい習慣を身につけさせるため、次のような事業を実施している。

- ・ 体育主任会や各種実技講習会の開催等による指導者の資質の向上
- ・ 各種体力・運動能力調査に基づく小・中学生の運動能力の実態把握
- ・ 水泳大会、駅伝大会の開催

**(3) いじめ、不登校等対策と特別支援教育の充実** 5-2

① スクールカウンセラー活用事業

小中学校での不登校の増加による教育相談事業の重要性を考慮し、児童生徒の臨床心理に関して高度の専門的な知識・経験・資格（臨床心理士等）を有する専門のスクールカウンセラーを各小中学校に配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。具体的活動としては、悩みを抱えている児童生徒に対し、解決に向けてのカウンセリングや教職



員からの相談に対して指導助言を行う。

② 不登校対策事業

適応指導教室「くすの実」を設置・運営し、心理的要因で登校できない状態にある児童生徒に対して、社会的自立を促し、集団生活に対応する力をはぐくむことを目指す。また、「サポート相談員」を配置し、不登校児童生徒の家庭を訪問して、不安の解消を図る。

令和元年度配置状況	サポート相談員
	6人

③ 不登校児童生徒支援事業

ア ICT学習支援員を活用した学習活動支援

家にこもりがちな児童生徒を対象に、生活空間の拡充、学力をつけるための学習教材の提供、支援を目的として、支援員を自宅に派遣する。支援員は、適応指導教室「くすの実」の指導員を中心に、サポート相談員、学級担任とも連絡を取り合い、「家庭」から「くすの実」、そして「学級」への段階的復帰を目指す。

令和元年度配置状況	ICT学習支援員
	15人

イ 学習支援員を活用した学習活動支援

学校において別室登校している児童生徒の学習支援や相談相手をすることで、別室登校状態の改善を目指した支援を行う。市立小中学校に配置している。

令和元年度配置状況	学習支援員
	22人

④ 特別支援教育推進事業

特別な支援が必要な障がいのある児童生徒の在籍する小中学校に生活指導員、特別支援学級支援員を配置し、対象児童生徒の自立のための支援を行うことで、学校生活への適応及び生活上の安全を図る。

令和元年度配置状況	生活指導員	特別支援学級支援員
	67人	30人

⑤ 通級指導教室設置事業

通常の学級に在籍するLD・ADHD等の発達障がいのある児童生徒や、言語障がいのある児童に対して、障がいの軽減や克服を目的とした自立活動、教科の補充指導を行うために通級指導教室を設置している。

	学 校 名	通級教室数
通級指導教室設置状況	勸興小学校	3 教室
	北川副小学校	2 教室
	高木瀬小学校	2 教室
	春日小学校	1 教室
	東与賀小学校	1 教室
	鍋島小学校	1 教室
	成章中学校	2 教室
	大和中学校	1 教室
	計 8 校	計 13 教室

⑥ 発達障がい児相談室（ひまわり相談室）運営事業

発達障がいを理由に学校における支援が困難である児童生徒を対象とし、本人及び保護者、学校関係者を交えた相談業務を行うことにより、困難さを軽減し、学校生活への適応を図る。

(4) 公平な教育機会の確保 **5-2**

① 就学援助

経済的な理由により就学が困難だと認められる市内小中学生の保護者に対して、必要な経済的支援を行う。保護者からの申請により審査を行い、援助が必要と認められる場合は、その保護者に対し、学用品費、新入学用品費、修学旅行費、旅行費、給食費、医療費の一部又は全部を補助する。

令和元年度就学援助費（令和2年度新入学用品費入学前支給分を除く）

令和元年度実績	認定者	事業費
小学校	1,944 人	109,696 千円
中学校	1,042 人	78,682 千円
合 計	2,986 人	188,378 千円

令和2年度新入学用品費入学前支給分

令和元年度実績	認定者	事業費
小学校	210 人	10,723 千円
中学校	315 人	18,900 千円
合 計	525 人	29,623 千円

② 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に就学する市内小中学生の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学に必要な経費（学用品費、給食費等）を援助す

る制度。保護者からの申請により審査を行い援助する。

令和元年度実績	認定者	事業費
小学校	393 人	10,032 千円
中学校	101 人	3,514 千円
合 計	494 人	13,546 千円

③ 高等学校生徒通学費補助事業

通学が困難な地域に居住する子どもが高等学校に通学するために要するバス代等の一部を助成する。

平成 24 年度から佐賀県が新たに高額通学費負担者への制度を設けたため、市では県制度と従来制度との差額を助成する。

年度	支給人数	支給金額
令和元年度	0 人	0 円

④ 通学費補助事業（小学校・中学校）

富士町、大和町、三瀬村の山間地域に居住し、通学区域の市立の小学校・中学校へ通学する遠距離通学の児童又は生徒の保護者に対して、バス定期券代等を補助する。

令和元年度	支給人数	支給金額
小学校	88 人	4,988 千円
中学校	25 人	2,261 千円
合 計	113 人	7,249 千円

⑤ 通学区域制度の弾力化推進事業

本市では、在学中における住所の変更や心身上事由など「相当と認められる理由」がある場合、通学区域の弾力的な取扱い（就学校の変更）を認めている。

さらに、新小学 1 年及び転入、転居により転入学する小学 1～6 年を対象に居住している小学校及び隣接している小学校から 1 校を選べる隣接校の選択制、市内のどこからでも選択できる特認校制を実施するなど、保護者のニーズに対応した学校選択制を導入している。

隣接校選択制・・・市内全小学校

特 認 校 制・・・小中一貫校芙蓉校（小）、小中一貫校松梅校（小）、小中一貫校富士校（小）、小中一貫校北山校（小）、北山東部小、小中一貫校三瀬校（小）

**(5) 安全な給食の提供と食育の推進** 5-2

① 学校給食維持管理事業

学校給食を安全かつ円滑に提供するために、市内 29 か所の給食調理場（自校方式、センター方式）の適切な管理を行う。なお、中部学校給食センターについては、選択制弁当方式（ケータリング方式）で給食を提供している。

② 食に関する教育指導の充実

栄養教諭や県費学校栄養職員が配置されていない学校に学校栄養職員（会計年度任用職員）を配置し、安定した給食運営を行う。また、学事課に管理栄養士（会計年度任用職員）を配置し、市内の栄養教諭、学校栄養職員及び各学校の給食主任と連携を取りながら、食教育の充実を図る。

③ 学校給食における安全衛生の充実

「佐賀市学校給食衛生管理基準」を独自に策定し、安全で衛生的な給食の提供に努めている。給食で使用する食品については、「佐賀市学校給食納品規格書」に沿って購入する。さらに食品が納入される際は、複数人で品質、生産地、賞味期限等を確認し、安全な食材を給食で使用している。

④ 学校給食食材の地場産品導入による食農教育の推進

学校給食で使用する食材（農産物）について、地元産の食材をより多く導入できるように生産者・納入業者・JA・市農業振興課等と協力して取り組みを進める。給食で地元の食材を使用し、同時に給食指導や給食だよりを通じて啓発を行うことにより、地元の農業や生産者のことを理解し、食農教育の推進を図る。

⑤ 学校給食の一部民間委託推進事業

学校給食調理員の正規職員退職者を補充せずに順次委託化を進めている。学校給食の作業工程のうち調理・洗浄部分を業務委託の対象としており、委託化によって削減された経費で学校栄養職員（会計年度任用職員）の配置を行うなど、給食事業の充実を図る。

⑥ 学校給食施設整備事業

安全な学校給食を提供するため、国が定める「学校給食衛生管理基準」に基づき、給食実施に必要な施設・設備について全体の整備計画を立て、順次衛生面での改善を図る。

**(6) 教育環境の充実** 5-2

① 学校施設の老朽化対策

学校施設の老朽化対策として「佐賀市公共建築物長寿命化計画」に基づき大規模改修を行う。

② 小・中学校施設改修事業

小・中学校施設について、子どもや教職員及び地域住民など施設利用者が安全で安心かつ快適に利用できるよう、改修、改善を行う。

③ 小・中学校児童生徒用図書整備

学校図書館の児童生徒用の図書整備を進め、読書指導の活性化はもとより、学校の教育課程の多様な展開に寄与するとともに、児童生徒が自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する能力を育て、学習情報センターとしての機能充実を目指す。

また、学校図書館と市立図書館とのネットワークにより、学校間及び市立図書館との図書資源の共同利用を行っている。

④ 小・中学校教育用情報機器整備事業

情報化社会に対応する児童・生徒を育成するため、小・中学校のパソコン教室に整備した児童生徒用パソコン及び教師用パソコン並びにプリンタ等周辺機器の維持管理及び更新を行う。

⑤ ICT教育環境維持管理事業

児童・生徒の学力向上及び教職員の授業準備に係る負担を軽減するため、小・中学校の

普通教室、特別支援教室及び特別教室に整備した電子黒板及び表示用パソコン並びに書画カメラ等周辺機器の維持管理及び更新を行う。また、児童・生徒の情報活用能力を育てるため、授業で活用できるパソコンを増設する。加えて、ICT支援員を配置し、ICT機器の利活用を推進する。

## (7) 健やかな体の育成 3-4

- ① 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の配置  
学校医（内科・眼科・耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師を各学校へ配置し、健康診断の実施や保健管理に関する相談・指導・助言等を行うことにより、児童生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施と児童生徒の健康に関する自己管理意識を高める。
- ② 児童生徒・教職員の各種健康診断等の実施  
法により実施を義務付けられている、「児童生徒の健康診断」、「教職員の健康診断」、「未就学児（次年度小学校入学予定者）の健康診断」を実施している。
- ③ フッ化物洗口むし歯予防事業  
虫歯の予防、歯の健康に対する意識の高揚を図ることを目的とし、学校でフッ化物洗口を実施する。学校薬剤師に洗口液を作ってもらい、週1回、希望する児童生徒にフッ化物洗口を行う。年間30回程度実施予定。
- ④ 学校環境衛生改善事業  
学校環境衛生基準に基づき、学校薬剤師、佐賀大学の協力で学校環境衛生検査（空気検査、プール検査等）を実施している。空気検査（ホルムアルデヒド等）は年1回、プールの水質検査は使用期間中に1か月に1回程度実施している。
- ⑤ 市中学校体育連盟運営等補助事業  
市中学校体育連盟の運営に要する経費等について補助金を支出することにより、中体連の活動を活性化させ、生徒の体位・体力の向上及び心身の健全育成を図る。
- ⑥ 学校体育外部指導者派遣事業  
市立中学校の運動部活動の指導に関し、実技に堪能な地域の外部指導者を招くことにより、スポーツ技術の向上と生徒の心身の健全育成を図り、同時に社会性を養う。

## (8) 子どもの安全確保のための取り組み 2-3

- ① 学校安全の推進  
児童生徒の学校生活等における安全（生活安全、交通安全、災害安全）を確保するため、各学校で安全教育と安全管理を効果的に進める体制を構築する。学校施設・設備等の点検・管理や設置場所の適正化、家庭・地域・学校の連携・協働、PDCAサイクルに基づく通学路合同点検の実施等により、学校安全の推進に努める。
- ② 学校情報携帯メールの配信  
あらかじめ、さがんメールに登録した小中学校の児童生徒の保護者等に対し、犯罪・災害等の情報を即時に通知する。あわせて、学校行事の変更など、学校情報の提供も行う。

## 令和2年度児童生徒数一覧表（小学校）

令和2年5月1日現在

学校名	区分	通常の学級							特別支援 学級	合 計
		学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
勸 興	児童数	40	50	50	59	40	50	289	33	322
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	6	18
循 誘	児童数	46	45	48	63	57	67	326	11	337
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	4	16
日 新	児童数	45	63	68	74	61	82	393	24	417
	学級数	2	2	2	3	2	3	14	5	19
赤 松	児童数	101	112	93	101	123	119	649	17	666
	学級数	3	4	3	3	4	4	21	4	25
神 野	児童数	115	106	133	133	124	136	747	35	782
	学級数	4	4	4	4	4	4	24	9	33
西与賀	児童数	52	44	51	56	45	45	293	15	308
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15
嘉 瀬	児童数	43	42	38	34	42	37	236	7	243
	学級数	2	2	1	1	2	2	10	2	12
巨 勢	児童数	66	44	53	43	53	46	305	23	328
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	4	16
兵 庫	児童数	137	139	163	123	134	118	814	37	851
	学級数	4	4	5	4	4	4	25	8	33
高木瀬	児童数	146	127	133	138	116	112	772	34	806
	学級数	5	4	4	4	4	4	25	6	31
北川副	児童数	122	114	118	118	103	87	662	30	692
	学級数	4	4	4	3	3	3	21	6	27
本 庄	児童数	73	77	84	73	89	89	485	26	511
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	5	23
鍋 島	児童数	123	140	161	130	153	146	853	43	896
	学級数	4	4	5	4	5	4	26	7	33
金 立	児童数	30	29	42	31	38	36	206	20	226
	学級数	1	1	2	1	2	1	8	3	11
久保泉	児童数	26	18	28	29	21	36	158	10	168
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
芙 蓉	児童数	12	9	11	10	14	16	72	12	84
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
新 栄	児童数	46	66	57	70	52	60	351	33	384
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	6	18
若 楠	児童数	44	46	46	47	46	58	287	21	308
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	4	16
開 成	児童数	54	77	85	74	89	95	474	37	511
	学級数	2	3	3	3	3	3	17	7	24

令和2年5月1日現在

学校名	区分	通常の学級							特別支援学級	合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計		
諸富北	児童数	36	32	33	36	30	34	201	14	215
	学級数	2	1	1	2	1	1	8	3	11
諸富南	児童数	46	34	36	46	51	52	265	11	276
	学級数	2	1	1	2	2	2	10	4	14
春日	児童数	77	105	65	79	79	94	499	21	520
	学級数	3	3	2	3	3	3	17	3	20
川上	児童数	49	48	45	47	42	57	288	13	301
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15
松梅	児童数	9	7	8	6	15	10	55	5	60
	学級数	1		1	1	1	1	5	2	7
春日北	児童数	74	104	83	74	79	90	504	32	536
	学級数	3	3	3	2	3	3	17	6	23
富士	児童数	10	14	18	15	15	14	86	4	90
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
北山	児童数	9	5	12	2	2	6	36	0	36
	学級数	1	1					4	0	4
北山東部	児童数	3	3	2	4	4	1	17	0	17
	学級数		1		1		1	3	0	3
三瀬	児童数	11	11	14	13	10	13	72	3	75
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
中川副	児童数	16	15	11	10	10	12	74	4	78
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	3	9
大詫間	児童数	14	9	5	9	7	5	49	2	51
	学級数	1	1		1		1	4	2	6
南川副	児童数	31	26	29	48	38	29	201	11	212
	学級数	1	1	1	2	2	1	8	2	10
西川副	児童数	59	58	48	46	53	52	316	10	326
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	14
東与賀	児童数	72	60	75	69	83	69	428	33	461
	学級数	3	2	2	2	3	2	14	6	20
思齊	児童数	79	54	78	73	68	64	416	30	446
	学級数	3	2	2	3	2	2	14	6	20
合計	児童数	1,916	1,933	2,024	1,983	1,986	2,037	11,879	661	12,540人
	学級数	75	72	70	74	74	74	439	139	578学級

低学年  
選択対象 ⇒ A選択  
少規模学級選択 / B選択  
TT選択

3～6学年  
選択対象 ⇒ 少人数学級希望 / 少人数学級希望なし

複式学級

(複式は、運用する実際の組合せで記載)

## 令和2年度児童生徒数一覧表（中学校）

令和2年5月1日現在

学校名	区分 学年	通常の学級				特別支援 学級	合 計
		1年生	2年生	3年生	小 計		
成章	生徒数	136	138	150	424	17	441
	学級数	4	4	4	12	4	16
城南	生徒数	159	149	162	470	8	478
	学級数	5	5	5	15	2	17
昭栄	生徒数	144	165	157	466	11	477
	学級数	4	5	5	14	3	17
城東	生徒数	203	190	178	571	20	591
	学級数	6	6	5	17	3	20
城西	生徒数	92	111	118	321	16	337
	学級数	3	4	4	11	4	15
城北	生徒数	149	151	179	479	14	493
	学級数	4	4	5	13	3	16
金泉	生徒数	61	48	52	161	12	173
	学級数	2	2	2	6	4	10
芙蓉	生徒数	7	12	14	33	2	35
	学級数	1	1	1	3	2	5
鍋島	生徒数	204	182	173	559	25	584
	学級数	6	6	5	17	4	21
諸富	生徒数	78	94	82	254	10	264
	学級数	3	3	3	9	3	12
大和	生徒数	198	178	204	580	18	598
	学級数	6	5	6	17	4	21
松梅	生徒数	8	12	12	32	2	34
	学級数	1	1	1	3	2	5
富士	生徒数	14	12	13	39	2	41
	学級数	1	1	1	3	1	4
北山	生徒数	6	5	9	20	1	21
	学級数	1	1	1	3	1	4
三瀬	生徒数	6	14	18	38	0	38
	学級数	1	1	1	3	0	3
川副	生徒数	95	90	88	273	9	282
	学級数	3	3	3	9	3	12
東与賀	生徒数	74	75	82	231	14	245
	学級数	3	2	3	8	3	11
思斉	生徒数	73	82	62	217	11	228
	学級数	3	3	2	8	2	10
合 計	生徒数	1,707	1,708	1,753	5,168	192	5,360人
	学級数	57	57	57	171	48	219学級

	A選択		B選択	
1年生 選択対象	⇒	少規模学級選択	/	TT選択
2、3年生 選択対象	⇒	少人数学級希望	/	少人数学級希望なし

小・中学校 総合計	17,900人
	797学級





【中学校】

令和2年5月1日現在

校名	県費職員数												市費職員数								総合計					
	校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	栄養士	事務職員		栄養士		調理員		事務員		図書館職員		職員	会計年度		
													職員	年会計	職員	年会計	職員	年会計	職員	年会計	職員	年会計			職員	年会計
成章	1		1		1	29	1				2			1.0						1.0		1.0	1.0	2.0	36.0	2.0
城南	1		1	1	1	25	1			2	2			1.0						1.0		1.0		3.0	34.0	3.0
昭栄	1		1	1		30	1			3	2			1.0						1.0		1.0		3.0	39.0	3.0
城東	1	1	1	1	1	35	2			1	2			1.0					1.0		1.0	1.0	2.0	46.0	2.0	
城西	1		1			22	1			3	1			1.0						1.0		1.0		3.0	29.0	3.0
城北	1		1	1	1	29	1			3	2			1.0						1.0		1.0		3.0	39.0	3.0
金泉	1		1			17	1			3	1			1.0						1.0		1.0		3.0	24.0	3.0
芙蓉	1		1			8	1			2				0.5						0.5		0.5		1.5	13.0	1.5
銅島	1	1	1	1	1	32	1			2	2			1.0						1.0		1.0		3.0	42.0	3.0
諸富	1		1		1	20	1		1	2	1			1.0						1.0		1.0		3.0	28.0	3.0
大和	1		1	1		35	1	1		4	2			1.0					1.0		1.0	1.0	2.0	47.0	2.0	
松梅	1		1			8	1				1			0.5						0.5		0.5		1.5	12.0	1.5
富士	1		1		1	6		1	1		1			0.5						1.0		0.5		2.0	12.0	2.0
北山	1		1		1	8	1				1			0.5						0.5		0.5		1.5	13.0	1.5
三瀬	1		1			7	1				1			0.5						0.5		0.5		1.5	11.0	1.5
川副	1		1		1	18	1			2	2			1.0						1.0		1.0	1.0	2.0	27.0	2.0
東与賀	1		1			21	1			2	2			1.0						1.0		1.0		3.0	28.0	3.0
思斉	1		1		2	16	1			2	1			1.0					1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	25.0	3.0	
中学校計	18	2	18	6	11	366	18	2	1	31	26			15.5						5.0	12.0	15.5	5.0	43.0	505.0	43.0
																						計 48.0		計 548.0		

小中学校 総合計	50	5	51	15	45	966	48	12	16	137	70	3	1,419	47.0		10.0	12.0			14.0	37.0		47.0	26.0	141.0	1,445.0	141.0
																						計 167.0		計 1,586.0			

【注】【県費】 小中一貫校の芙蓉校長、松梅校長、北山校長は小中兼務

【注】【市費】 0.5 ……事務職員・図書兼務  
⇒小規模校では、学校図書館職員が学校事務職員を兼務

【注】【市費】 0.5 ……一貫校の小中兼務  
⇒芙蓉校、北山校では、事務職員・事務員・図書館職員は小中兼務  
⇒松梅校、三瀬校では、事務員は小中兼務

〔資料〕小中学校建物等一覧

令和2年5月1日現在

学 校 名	校地面積 (㎡)				校舎面積 (㎡)			保 有 教 室 数	
	建 物 敷 地 面 積	運 動 場 敷 地 面 積	そ の 他 敷 地 面 積	総 面 積	鉄 筋 ・ 鉄 骨	木 造	総 面 積	普 通 教 室	特 別 教 室
勸興小	11,542㎡	9,065㎡		20,607㎡	5,624㎡	58㎡	5,682㎡	18	19
循誘小	16,679㎡	13,839㎡		30,518㎡	5,597㎡	69㎡	5,666㎡	16	17
日新小	16,292㎡	8,498㎡		24,790㎡	5,627㎡	79㎡	5,706㎡	19	13
赤松小	16,069㎡	13,901㎡	202㎡	30,172㎡	5,970㎡	76㎡	6,046㎡	25	15
神野小	11,468㎡	9,150㎡	198㎡	20,816㎡	5,575㎡	81㎡	5,656㎡	33	12
西与賀小	9,608㎡	12,980㎡		22,588㎡	4,618㎡	78㎡	4,696㎡	15	10
嘉瀬小	11,518㎡	9,739㎡		21,257㎡	4,175㎡	109㎡	4,284㎡	12	10
巨勢小	9,347㎡	9,015㎡		18,362㎡	3,431㎡	200㎡	3,631㎡	16	8
兵庫小	11,946㎡	18,397㎡	198㎡	30,541㎡	5,887㎡	21㎡	5,908㎡	33	6
高木瀬小	9,816㎡	15,407㎡	174㎡	25,397㎡	5,360㎡	80㎡	5,440㎡	31	9
北川副小	9,925㎡	14,459㎡	202㎡	24,586㎡	5,133㎡	108㎡	5,241㎡	27	11
本庄小	8,981㎡	10,485㎡	262㎡	19,728㎡	5,660㎡	60㎡	5,720㎡	23	8
鍋島小	15,043㎡	13,237㎡	536㎡	28,816㎡	6,904㎡	129㎡	7,033㎡	33	10
金立小	10,565㎡	11,926㎡		22,491㎡	3,416㎡	78㎡	3,494㎡	11	10
久保泉小	11,066㎡	8,763㎡		19,829㎡	3,298㎡	-	3,298㎡	8	9
芙蓉小	14,619㎡	14,473㎡		29,092㎡	1,536㎡	78㎡	1,614㎡	8	1
新栄小	8,836㎡	14,097㎡	191㎡	23,124㎡	3,797㎡	1,028㎡	4,825㎡	18	9
若楠小	9,005㎡	13,318㎡		22,323㎡	4,966㎡	78㎡	5,044㎡	16	9
開成小	18,989㎡	12,490㎡	104㎡	31,583㎡	5,556㎡	116㎡	5,672㎡	24	9
諸富北小	9,081㎡	11,711㎡		20,792㎡	4,225㎡	-	4,225㎡	11	14
諸富南小	12,284㎡	9,531㎡		21,815㎡	4,704㎡	60㎡	4,764㎡	14	9
春日小	12,303㎡	8,364㎡		20,667㎡	6,019㎡	-	6,019㎡	20	6
川上小	11,078㎡	9,339㎡	152㎡	20,569㎡	4,456㎡	84㎡	4,540㎡	15	10
松梅小	5,576㎡	2,820㎡	18㎡	8,414㎡	1,849㎡	31㎡	1,880㎡	8	7
春日北小	15,144㎡	13,750㎡	152㎡	29,046㎡	5,044㎡	-	5,044㎡	23	9
富士小	12,135㎡	9,200㎡	45㎡	21,380㎡	-	2,251㎡	2,251㎡	8	8
北山小	11,380㎡	8,148㎡		19,528㎡	715㎡	609㎡	1,324㎡	4	4
北山東部小	6,607㎡	10,984㎡	663㎡	18,254㎡	-	1,241㎡	1,241㎡	3	7
三瀬小	7,351㎡	4,634㎡	482㎡	12,467㎡	229㎡	2,339㎡	2,568㎡	8	7
中川副小	8,198㎡	12,240㎡		20,438㎡	4,005㎡	-	4,005㎡	9	12
大詫間小	6,397㎡	9,052㎡		15,449㎡	2,303㎡	-	2,303㎡	6	9
南川副小	12,866㎡	10,020㎡		22,886㎡	4,613㎡	-	4,613㎡	10	14
西川副小	10,775㎡	13,741㎡		24,516㎡	4,273㎡	-	4,273㎡	14	9
東与賀小	10,185㎡	14,394㎡		24,579㎡	4,628㎡	8㎡	4,636㎡	20	8
思斉小	12,285㎡	9,263㎡	805㎡	22,353㎡	5,436㎡	-	5,436㎡	20	12
計	394,959㎡	390,430㎡		789,773㎡	144,629㎡	9,149㎡	153,778㎡	579	340

令和2年5月1日現在

学校名	屋内運動場				給食室			プー ル		
	構造	面積	クラブハウス	建築年度	構造	面積	建築年度	構造	面積	建築年度
勸興小	R	1,049㎡	200㎡	H5	R	179㎡	53	RC	525㎡	33
循誘小	S	1,200㎡	-	H23	R	171㎡	62	FRP	450㎡	H5
日新小	R	1,230㎡	220㎡	H9	R	174㎡	H2	RC	485㎡	41
赤松小	R	1,387㎡	-	52	R	181㎡	H3	ステンレス	450㎡	H5
神野小	S	1,200㎡	-	H22	R	180㎡	H5	ステンレス	400㎡	H20
西与賀小	S	820㎡	-	56	S	204㎡	H28	RC	401㎡	58
嘉瀬小	R	999㎡	200㎡	62	R	155㎡	60	RC	375㎡	40
巨勢小	S	943㎡	148㎡	H25	S	204㎡	H29	RC	325㎡	37
兵庫小	S	1,200㎡	-	H21	S	204㎡	H18	ステンレス	450㎡	H7
高木瀬小	S	1,200㎡	-	H23	S	204㎡	H10	RC	450㎡	57
北川副小	S	1,064㎡	-	56	S	204㎡	H12	ステンレス	475㎡	61
本庄小	R	1,049㎡	200㎡	H3	R	179㎡	H4	ステンレス	450㎡	H3
鍋島小	S	1,200㎡	-	H20	S	224㎡	H28	RC	405㎡	40
金立小	S	944㎡	152㎡	H24	S	204㎡	H29	RC	399㎡	39
久保泉小	S	1,200㎡	-	H20	R	135㎡	H8	RC	375㎡	32
芙蓉小	R	589㎡	-	H12	R	129㎡	H6	RC	425㎡	大33小58
新栄小	S	945㎡	148㎡	H26	S	204㎡	H29	RC	450㎡	47
若楠小	S	990㎡	-	53	S	204㎡	R1	RC	450㎡	53
開成小	R	1,049㎡	200㎡	H1	R	180㎡	H1	FRP	450㎡	H1
諸富北小	R	920㎡	358㎡	H3	-	-	-	RC	325㎡	39
諸富南小	R	990㎡	238㎡	H16	-	-	-	RC	325㎡	45
春日小	R	972㎡	108㎡	57	S	204㎡	H30	RC	410㎡	41
川上小	R	942㎡	140㎡	H4	R	228㎡	H4	RC	422㎡	42
松梅小	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春日北小	R	929㎡	178㎡	H7	R	228㎡	H7	ステンレス	455㎡	H7
富士小	W	892㎡	103㎡	H17	-	-	-	ステンレス	325㎡	H17
北山小	R S	569㎡	-	H19	-	-	-	ステンレス	321㎡	H20
北山東部小	R	463㎡	-	57	-	-	-	RC	265㎡	H14
三瀬小	S	660㎡	-	H16	-	-	-	-	-	-
中川副小	R	696㎡	-	57	-	-	-	RC	475㎡	H10
大詫間小	R	800㎡	201㎡	H1	-	-	-	RC	373㎡	40
南川副小	R	941㎡	263㎡	62	-	-	-	RC	750㎡	40
西川副小	S	944㎡	152㎡	H23	-	-	-	RC	525㎡	39
東与賀小	S	1,192㎡	-	45	S	304㎡	H8	RC	1,300㎡	41
思斉小	R	947㎡	359㎡	63	S	333㎡	63	RC	1,300㎡	48
計	-	33,115㎡	3,568㎡	-	-	4,816㎡	-	-	15,761㎡	-

令和2年5月1日現在

学校名	校地面積 (㎡)				校舎面積 (㎡)			保有 教室数	
	建物敷地面積	運動場敷地面積	その他敷地面積	総面積	鉄筋・鉄骨	木造	総面積	普通教室	特別教室
成章中	13,553㎡	20,378㎡		33,931㎡	5,402㎡	61㎡	5,463㎡	16	20
城南中	17,405㎡	17,714㎡		35,119㎡	7,488㎡	58㎡	7,546㎡	17	20
昭栄中	17,313㎡	15,543㎡		32,856㎡	8,263㎡	58㎡	8,321㎡	17	24
城東中	14,728㎡	13,226㎡		27,954㎡	7,044㎡	107㎡	7,151㎡	20	22
城西中	12,889㎡	15,002㎡		27,891㎡	6,168㎡	58㎡	6,226㎡	15	22
城北中	16,271㎡	22,618㎡		38,889㎡	5,598㎡	111㎡	5,709㎡	16	14
金泉中	11,475㎡	12,049㎡		23,524㎡	3,656㎡	-	3,656㎡	10	10
芙蓉中	-	-		0㎡	1,886㎡	112㎡	1,998㎡	5	9
鍋島中	13,559㎡	18,041㎡		31,600㎡	5,686㎡	107㎡	5,793㎡	21	17
諸富中	12,351㎡	15,395㎡		27,746㎡	4,301㎡	11㎡	4,312㎡	12	17
大和中	19,700㎡	23,894㎡		43,594㎡	7,709㎡	-	7,709㎡	21	25
松梅中	6,394㎡	9,421㎡		15,815㎡	2,202㎡	21㎡	2,223㎡	5	10
富士中	9,237㎡	6,811㎡	943㎡	16,991㎡	535㎡	1,892㎡	2,427㎡	4	8
北山中	-	-		0㎡	1,511㎡	650㎡	2,161㎡	4	9
三瀬中	6,625㎡	2,769㎡		9,394㎡	1,829㎡	-	1,829㎡	3	5
川副中	15,781㎡	16,314㎡		32,095㎡	7,660㎡	-	7,660㎡	12	28
東与賀中	11,198㎡	17,794㎡		28,992㎡	4,238㎡	9㎡	4,247㎡	11	12
思斉中	16,741㎡	10,925㎡	488㎡	28,154㎡	4,874㎡	-	4,874㎡	10	17
計	215,220㎡	237,894㎡		454,545㎡	86,050㎡	3,255㎡	89,305㎡	219	289

(改築中建物について、完成予定面積を算入し、取り壊し予定面積は除く。)

令和2年5月1日現在

学校名	屋内運動場				給食室			プー ル		
	構造	面積	クラブハウス	建築年度	構造	面積	建築年度	構造	面積	建築年度
成章中	R	1,342㎡	-	48	-	-	-	ステンレス	400㎡	H24
城南中	R	1,537㎡	474㎡	H4	-	-	-	FRP	400㎡	H4
昭栄中	R	1,436㎡	-	57	-	-	-	RC	375㎡	38
城東中	R	1,277㎡	348㎡	62	-	-	-	FRP	400㎡	H9
城西中	R	1,277㎡	348㎡	63	-	-	-	ステンレス	400㎡	63
城北中	R	1,315㎡	310㎡	H7	-	-	-	RC	400㎡	44
金泉中	S	1,157㎡	180㎡	H17	-	-	-	ステンレス	400㎡	H10
芙蓉中	R	749㎡	-	H12	-	-	-	-	-	-
鍋島中	R	1,375㎡	269㎡	58	-	-	-	FRP	400㎡	58
諸富中	R	1,141㎡	-	41	-	-	-	RC	425㎡	52
大和中	R	2,315㎡	199㎡	62	-	-	-	RC	1,000㎡	46
松梅中	R	897㎡	-	H2	-	-	-	RC	465㎡	49
富士中	S	961㎡	-	41	-	-	-	ステンレス	250㎡	H29
北山中	RS	725㎡	-	H19	-	-	-	-	-	-
三瀬中	S	455㎡	-	H16	-	-	-	-	-	-
川副中	R	2,595㎡	474㎡	H5	-	-	-	-	-	-
東与賀中	R	1,197㎡	381㎡	62	-	-	-	-	-	-
思斉中	R	1,364㎡	540㎡	H9	-	-	-	-	-	-
計	-	23,115㎡	3,523㎡	-	-	-	-	-	5,315㎡	-

R(=RC)…鉄筋コンクリート造、S…鉄骨造、RS…鉄筋コンクリート・鉄骨造、FRP…繊維補強プラスチック

[資料] 令和元年度就学援助費・特別支援教育就学奨励費補助給付状況

内訳 種別		小学校			中学校			合計 (円)
		児童 総数 (人)	給付 児童 数 (人)	給付額 (円)	生徒 総数 (人)	給付 生徒 数 (人)	給付額 (円)	
就学援助費	修学旅行費	12,487	1,944	4,812,286	5,395	1,042	15,749,690	20,561,976
	旅行費 (市費単独事業)			2,987,161			2,141,952	5,129,113
	学用品費等			26,880,254			25,962,885	52,843,139
	校外活動費 (宿泊を伴うもの)			775,410			98,429	873,839
	新入学用品費			2,580,600			1,148,000	3,728,600
	給食費			69,630,627			32,938,840	102,569,467
	医療費			2,030,000			531,435	2,561,435
	通学費			0			110,900	110,900
	新入学用品費 (入学前支給)			210			10,722,600	315
	計			120,418,938			97,582,131	218,001,069
特別支援教育就学奨励費			393	10,032,252		101	3,513,689	13,545,941
合計				130,451,190			101,095,820	231,547,010

## 4 家庭・地域・企業等の教育力の向上 5-3

### (1) 「子どもへのまなざし運動」の推進

#### ① 「子どもへのまなざし運動」の概要

子どもが健やかに成長していく過程では、多くの他者とのかかわり、とりわけ大人とのかかわりが重要である。そこで佐賀市では、子どもが社会において保障されるべき様々な権利の尊重に努め、すべての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ、主体的にかかわる社会『子どもへのまなざし“100%”のまち』の実現を目指し、市民総参加で子どもを育む市民運動を展開する。平成19年度には、この運動の後ろ盾となる「佐賀市未来を託す子どもを育むための大人の役割に関する条例」を制定（平成20年4月1日施行）、平成20年度から本格的な推進を図っている。

#### ア 運動の理念

- i 大人は、子どもを育むことに対する役割と責任を自覚する。
- ii 大人は、子どもの声に耳を傾け子どもの権利を尊重する。
- iii 大人は、子どもの手本となるよう大人自身が模範を示す。

#### イ 大人の役割と行動指針

##### i 子どもを育む4つの場

- 家庭・・・子どもを一人前の大人・親に育てる。
- 地域・・・子どもに地域の一員としての自覚を促す。
- 企業等・・・子どもの勤労感・職業観を育む。
- 学校等・・・子どもの学ぶ喜びを育む。

##### ii 子どもを育む4つの視点

子どもを育む上で、時代の移り変わりに左右されない視点がある。この運動では、その中でも特に大切にしたい「命」・「自立」・「他者とのかかわり」・「子どもを取り巻く環境」という4つの視点から大人の行動指針を提案する。

#### ② 「子どもへのまなざし運動」の具体的な取り組み

#### ア 広める事業

説明会、出前講座等の実施やのぼり旗、ベスト、帽子などの啓発グッズの活用、参加企業の募集など子どもへのまなざし運動の全市的な周知・啓発に努める。

#### イ 紹介する事業

子どもを育む4つの場（家庭・地域・企業等・学校等）で取り組まれている活動を市報さがやフリーペーパー、ホームページ等により情報発信する。

#### ウ ほめる事業

地域や各種団体の優良事例を『まなざしキラリ賞』として表彰し、また実践発表の場を設定することで全市的な意識の高揚を図る。

#### ③ 家庭教育講座開催事業

より多くの保護者に、家庭ですべきしつけ等の家庭教育に関心を持ってもらい、全市的に家庭教育力の向上を図ることを目的として実施する。

#### ア 新入学説明会を活用した家庭教育講座

市内小中学校における新入学説明会の際に講師を派遣し、家庭教育講座を開催する。



## イ 家庭教育講座講師派遣事業

保育園、幼稚園、小・中学校 PTA、子育てサークル等が開催する家庭教育講座に講師を派遣する。

### ④ 放課後子ども教室推進事業

小学校区単位で、地域の方々が実施協議会を設置。心豊かでたくましい子どもを地域、社会全体で育むことを目的として、主に学校や公民館において、週末や放課後の時間帯に、子どもたちが体験できる活動や、子どもたちと地域住民の交流活動を企画運営する。子どもの安全・安心な居場所（遊び場）を整備する目的もあり、子どもへのまなざし運動で、子どもを育む場の一つとして定義する「地域」における取り組みとして推進している。

令和元年度 事業実施校区	6 校区 (日新、嘉瀬、兵庫、北川副、新栄、若楠)
-----------------	------------------------------

### ⑤ 地域元気アップ事業

地域（校区等）で、学校、幼稚園、保育所、公民館、青少健、子ども会、PTA、社協等、様々な団体の取り組みに関する情報を共有化し、相互に参加しあい、協力しあう等の地域での一体的な子どもを育む体制づくりに対して支援する。

※令和元年度補助団体《13 団体》

### ⑥ 社会教育助成補助事業

社会教育の振興を図るため、社会教育に関する事業を実施する社会教育団体及び青少年健全育成に関する事業を実施する社会教育団体に対して補助金を交付し、その活動を支援する。

### ⑦ 山村留学助成事業

#### ア 山村留学助成

佐賀市立北山東部小学校において山村留学生を受け入れる。長期留学では1年間、短期留学では夏休み中に2泊3日で地域の方の家にホームステイする。留学生を受け入れることで、地域全体で子どもたちを見守り、育てていく意識の醸成を図る。また、少人数の児童間における人間関係に変化を期待する。事業主体である「やまばと山村留学実行委員会」に対し、補助金を交付する。

#### イ スポーツ山村留学助成

佐賀市立三瀬中学校剣道部は全国トップクラスの成績を維持しているものの地元生徒が減少傾向にあるため、市外からスポーツ留学生を受け入れることで、部の存続と競技力の維持・向上につなげる。また、市外出身の生徒を受け入れることで生徒間の交流を深め、教育環境の向上と地域の活性化を図る。事業主体である「スポーツ山村留学実行委員会」に対し、補助金を交付する。

## (2) 子ども・若者の健全育成

### ① 非行防止対策事業

佐賀市青少年センターに専任補導員を配置し、青少年が多く集まる場所、大型店舗等を中心とした街頭巡回指導を毎日実施するとともに、市内全域に少年育成委員（127名）を配置し、月4回、午前、午後又は夜間に26校区・地区ごとの巡回指導を実施することで、問題行動の早期発見及び早期指導を行い、青少年の非行を未然に防止する。

また、青少年に影響を及ぼす有害環境の調査及び地域環境点検活動（点検店舗：コンビニエンスストア、書店、レンタルビデオ店、カラオケボックス等）を実施し、有害環境の改善に取り組む。

② 子ども電話・面接・メール相談事業

学校生活に関するいじめ・不登校・友人関係などの問題や、心や体の悩みなどの青少年の悩みに対して、電話相談、面接相談及びメール相談により適切な指導及び助言を行う。

令和元年度 相談対応件数	電話相談	面接相談	メール相談
	18 件	1 件	5 件

③ 子ども・若者支援事業

佐賀市内のニート、ひきこもり、不登校等の不適応を抱える子ども・若者を対象とした相談を受け付け、相談支援、訪問支援を行う。また、学校復帰・社会復帰につながることを目的にした講座や教室を開催する。

令和元年度相談対応件数	2,726 件
累計相談登録者人数	210 人

④ 青少年向け講座開催事業

子どもたちが、体験活動を通じて他人への思いやりや優しさ、協調性を学び、心身ともに健全な青少年へと成長することを目的とする。青少年センターの設備を活用し、卓球教室を年間 2 期（1 期 6 回、毎週土曜日午前中開催）、親子アロマセラピー教室、料理教室等を開催。

⑤ 久米島町中学生交流事業

沖縄県久米島町と佐賀市の中学生が交流し、双方の異なる歴史や文化、環境に触れることにより、郷土への理解を深める。

また、佐賀市出身で久米島町に大きな業績を残した第 11 代齋藤用之助の功績に触れ、郷土に誇りを持つ中学生を増やす。

⑥ 青少年センター管理運営事業

昭和 47 年 7 月 1 日に青年の家として設立後、平成 15 年 4 月 1 日に青少年センターと名称変更した。また、平成 28 年 10 月 1 日に佐賀ブルーミュージアム 3 階に移転した。青少年に学習と憩いの場を与え、健やかな成長の支援を行い、また、困難を有する青少年等の支援を行うための施設である青少年センターの管理運営事業を実施する。

【佐賀市青少年センター利用者の推移】

（実人数）

	小中学生	高校生	大学生	一般成人	合 計	1 日平均
平成 27 年度	10,532 人	4,516 人	1,365 人	15,825 人	32,238 人	90 人
平成 28 年度	15,438 人	19,524 人	1,289 人	15,581 人	51,832 人	149 人
平成 29 年度	23,993 人	46,583 人	5,314 人	14,747 人	90,637 人	253 人
平成 30 年度	27,381 人	48,443 人	7,435 人	15,033 人	98,292 人	274 人
令和元年度	23,935 人	41,632 人	6,907 人	15,641 人	88,115 人	252 人

⑦ 佐賀市成人式

佐賀市成人式は、その年度に二十歳を迎える方を対象に、毎年 1 月、成人の日の前日の日曜日に開催する。

大人としての自覚を持ち、地域社会や国際社会に羽ばたき、社会人として自立する新成人の門出を祝福するとともに、これからの社会を担っていく若者を激励するために開催する。

【令和元年度佐賀市成人式】

会 場	開 催 日 時	開 催 場 所
佐 賀	1 月 12 日 (日) 14 : 00 ~	佐賀市文化会館
諸 富		諸富町公民館
大 和		ホテル龍登園
富 士		富士公民館
三 瀬		三瀬公民館
川 副		スポーツパーク川副
東 与 賀		東与賀文化ホール
久 保 田		久保田保健センター

⑧ 発明クラブ運営事業

佐賀県発明協会と市教育委員会との共催で、平成元年度にクラブを発足。佐賀市からの補助金と佐賀商工会議所等の企業・事業所からの助成金でクラブを運営している。クラブ員は市内の小・中学生約 30 名で、クラブ員個々がアイデアを出しながら、年間を通してオリジナルの作品を作り上げ発表する。専任指導員 1 名と指導員数名にて指導を行い、勸興小学校において土曜日の午前中、年間 30 回程度の活動を行っている。

## 5 自ら学ぶ生涯学習の推進 5-4

### (1) 多様な学習機会の提供

#### ① 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機材・教具を学校、社会教育団体、市民に貸し出すことで、市民の学習機会の提供を行う。

視 聴 覚 教 材 品 名	
デジタルビデオカメラ・三脚	スクリーン
デジタルカメラ	プロジェクター
ビデオプロジェクター	レーザーポインター
マイクスタンド	ドラムコード
ワイヤレスアンプ	DVDプレーヤー

### (2) 生涯学習施設の整備・運営（その他の生涯学習施設については、112 ページを参照）

#### ① 施設の設置状況

種 類	該 当 施 設	運 営 形 態
コミュニティセンター (2 施設)	富士南部コミュニティセンター	指定管理者 (富士町内野自治会)
	富士北部コミュニティセンター	指定管理者 (富士町中原区)
その他社会教育施設 (3 施設)	佐野常民記念館 金立教育キャンプ場	直営
	星空学習館	指定管理者 (佐賀天文協会)

#### ② 施設の管理運営

##### ア コミュニティセンター（富士南部、富士北部）

コミュニティセンターの管理運営を行い、地域住民が気軽に立ち寄ることができ、住民会議、情報交換、各種学習活動、サークル活動、軽スポーツなどの活動の場として地域コミュニティ活性化のための施設として活用する。

##### イ 佐野常民記念館

佐野常民記念館の管理運営を行い、佐野常民の遺徳を顕彰するとともに、次世代教育やボランティア活動などの体験学習を通して生涯学習の推進を図る。

##### ウ 金立教育キャンプ場

市民、特に、小中学生を対象にキャンプ施設を提供することで、社会性、創造性、自然を愛する心を養うことにより青少年の健全育成を図る。

##### エ 星空学習館

星空学習館の管理運営を行い、天体・科学に関する学習を推進することで、生涯学習の振興を図る。

## 6 佐賀市立図書館 5-4

### (1) 図書館運営事業

佐賀市立図書館本館を拠点に、7つの分館、6つの分室を設置し、遠隔地には自動車図書館を運行することで、市内全域の図書館サービスを展開している。

また、地域の情報拠点、生涯学習の拠点、市民の交流の場としての機能をさらに充実させ、市民の教養、文化の向上を図るため、利用者ニーズにあった多様な資料収集に努めている。

### (2) 図書館施設整備事業

図書館の施設整備計画を策定し、老朽化した施設（本館・分館）の施設整備、改修を計画的に実施していく。

### (3) 図書館資料整備事業

あらゆる人々の多様なニーズに応えていくため、図書資料、視聴覚資料、郷土・行政資料など、幅広く奥行きのある蔵書の収集、整理、保存に努め、図書館サービスの充実を図っている。

### (4) 読書活動支援事業

図書館や学校等でのボランティア活動を支援するために施設等の提供を行い、読み語りや対面朗読のボランティア養成講座を実施している。

また、課題解決型読書支援として、図書館の使い方講座、調べもの講座など、各種支援講座を実施している。

### (5) 情報発信事業

展示ギャラリー等での地域情報の発信のほか、市報さが、図書館だより、市立図書館ホームページ、マスコミ等を活用した様々な情報発信を行っている。

### (6) 分館・分室運営事業

公民館等内に設置された分館（大和館、諸富館、東与賀館、富士館、三瀬館、川副館、久保田館）では、地域の利用者ニーズに応じた特色ある図書館運営を行いながら、地域の学校やボランティアとの連携を図ることで利用促進に努めている。

また、市街周辺部（開成、金立、鍋島、高木瀬、本庄、巨勢）の公民館内に設置した分室においても定期的にイベントを実施し、地域住民や高齢者等の図書館の利用推進を図っている。

### (7) 自動車図書館運営事業

交通が不便な山間部や遠隔地で運行している自動車図書館は、随時、サービスステーションを見直しながら、すべての市民が身近に利用できるように図書館サービスに努めている。

## **(8) 図書館ネットワークの充実**

利用者が貸出・返却場所を自由に選べるように本館、分館、分室、自動車図書館での資料の流通を図っている。

また、相互貸借制度を利用し、市立図書館に所蔵していない図書資料を他の公共図書館から借り受けて利用者に提供している。

そのほか、市内小・中学校との資源共有を進め、資源の効率的な活用を図るとともに、学校図書館への支援を通して児童生徒の学習、読書活動を支援している。

## **(9) 図書館サービスの充実**

利用者のニーズに応じた資料の貸出・返却、A V(視聴覚資料)館内視聴サービス、視覚障がい者のための対面朗読などのハンディキャップサービス、子どもに本との出会いを提供する児童サービス、青少年の読書活動を推進するヤングアダルトサービス、資料等に関する相談に応じるレファレンスサービスを行っている。

また、図書館資料の検索や貸出中の資料を予約できるサービスなど、インターネットを利用したW e bサービスの充実を図っている。

## **(10) 図書館資料リユース（再使用）の推進**

市立図書館で除籍した図書資料を学校図書館、公共施設、ボランティア団体、市民に再使用してもらい、資源のリユースを推進している。

## **(11) 市民との協働、ボランティアの推進**

市民とのパートナーシップを推進し、市民と協働して図書館サービスの充実を図る。

また、図書館でのボランティア活動を希望する市民には館内のボランティア活動やボランティア団体の案内を行うとともに、対面朗読ボランティアや読み語りボランティア養成のための講習会等を定期的に行い、継続していくことでボランティアの確保に努める。

## **(12) 子どもの読書活動推進事業**

平成 30 年度に策定した「佐賀市子どもの読書活動推進計画（平成 31 年度～令和 5 年度）」をもとに、関係課である学校教育課・健康づくり課と協力しながら、子ども達が読書に親しむための環境づくりに取り組む。

○ 佐賀市立図書館利用案内

項 目		内 容		
1	開館時間	本館・大和館・諸富館・富士館・東与賀館	火～土曜日 10:00～19:00 (富士館は18:00まで) 日曜・祝日 10:00～17:00	
		三瀬館・川副館・久保田館・分室(開成・金立・鍋島・高木瀬・本庄・巨勢)	火曜日 12:00～17:00 水曜日～土曜日 10:00～17:00	
2	休館日	休館日	毎週月曜日(祝日のときは翌日)、年末年始 ※三瀬館・川副館・久保田館・分室は日曜・祝日休館	
		館内整理日	12月を除く毎月最終木曜日 (祝日のときは翌日)	
		特別整理期間	年7日以内	
3	貸出の対象	① 佐賀中部広域連合構成市町に在住する者 ② 佐賀市内に通勤、通学する者 ③ その他館長が認める者		
4	個人貸出	資 料	数 量	期 間
		図 書 資 料	15点以内	2週間以内
		ビ デ オ ・ D V D	合わせて2点以内	2週間以内
		C D ・ カ セ ッ ト	合わせて3点以内	2週間以内
	絵 画	1点		1箇月以内
5	団体貸出	図 書 資 料	1,000冊以内	3箇月以内
		そ の 他 の 資 料	個人貸出の例による	
6	視聴覚資料の館内利用	ビデオ・DVD 視聴	ブース5席	
		CD・カセット 試聴	試聴席1席	
7	集 会 室	多目的ホール (165㎡)	図書館法による集会活動。ただし、図書館運営に支障のない範囲内で一般の利用に供する。 ○使用料 [10時～12時 2,200円] [13時～17時 4,400円] [18時～21時 4,400円] ※営利目的、政治活動、宗教活動は利用できない。	
		大集会室 (100㎡)	図書館法による図書館活動に沿った利用等。 ※営利目的、政治活動、宗教活動は利用できない。	
備考	<p>※「図書資料」とは、本・雑誌・紙芝居のことで、雑誌についてはバックナンバーを貸出対象としている。</p> <p>※貴重本等については、館外貸出規制を設けているものもある。</p> <p>※佐賀中部広域連合構成市町 4市1町 (佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町)</p>			

○ 図書館利用統計

年 度		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
本館入館者数(人)		517,698	497,948	473,243	465,007	437,558
市内個人登録者数(人)		80,593	82,222	83,568	85,127	86,715
貸 出 点 数	本館	1,230,294	1,162,500	1,098,161	1,084,502	1,011,400
	大和館	153,615	155,727	154,710	161,327	160,203
	諸富館	65,486	62,542	60,972	60,771	57,934
	東与賀館	79,702	77,220	68,143	62,344	60,013
	富士館	30,387	34,835	33,654	30,301	26,411
	三瀬館	10,541	9,579	12,219	11,120	11,008
	川副館	37,968	33,150	29,071	30,307	27,303
	自動車図書館及び団体貸出	30,552	28,927	31,378	26,463	18,978
	開成分室	36,738	27,953	28,640	32,585	32,510
	金立分室	34,285	35,426	37,401	37,464	34,715
	鍋島分室	36,374	46,955	41,927	47,729	48,190
	高木瀬分室	63,291	60,521	55,878	60,315	55,169
	本庄分室	44,422	40,262	35,844	33,177	37,987
	巨勢分室	47,693	41,894	36,221	33,753	33,623
合計	1,901,348	1,817,491	1,724,219	1,712,158	1,615,444	
資料所蔵数		830,301	813,448	785,767	780,657	777,336
予約点数		157,504	160,107	149,173	174,878	169,013
レファレンス件数		19,053	15,573	36,347 (14,711)	41,700 (18,791)	36,701 (17,990)
本館開館日数		292	290	285	289	282
本館入館者／日		1,773	1,717	1,661	1,609	1,552
貸出点数／日		6,511	6,267	6,050	5,924	5,729
予約点数／日		539	552	523	605	599
レファレンス件数／日		65	54	128 (52)	144 (65)	130 (64)

※レファレンス件数について、H28 年度までは分室と本館の中央カウンター・児童カウンター・案内カウンター・団体貸出受付等での受付件数を計上していなかったが、H29 年度からは計上している。比較のため、括弧内は H28 年度と同じ積算方法で計上している。



## 7 未来につなげる文化の振興 5-6

### (1) 文化財の保存・活用

#### ① 文化財の調査

##### ア 歴史の調査

一般文化財を含んだ歴史的な事柄について様々な調査を行う。文化財指定を行うための基礎的な調査をはじめ、市民からの歴史的な事柄の問い合わせに対する調査・回答なども行う。

##### イ 埋蔵文化財発掘調査

埋蔵文化財の保存や、開発事業に先立つ記録保存を目的とした調査を行う。現地調査終了後は、出土遺物や作成した記録類の整理・分析調査を行った上で、発掘調査報告書を刊行し、研究や学習教材として資料を提供する。

また、市内で行われる開発に先立ち、埋蔵文化財の確認調査を行い、開発と文化財保護との調整を図っている。

令和元年度実施事業	内 容
市内遺跡発掘調査	市内で行われる開発行為に先立ち、開発対象地内で埋蔵文化財の有無、内容を確認する調査を実施した。 (確認調査実施件数：131件)
出土遺物保存処理事業	発掘調査で出土した遺物について、保存処理を実施した。
東名遺跡出土遺物整理事業	遺跡から出土した遺物の整理作業を実施した。
鍋島本村発掘調査	鍋島本村地区ほ場整備事業に伴う発掘調査及び前年度調査分の整理・報告書作成を実施した。
七ヶ瀬遺跡発掘調査	佐賀コロニー跡地の発掘調査を実施した。
久保泉工業団地発掘調査	久保泉工業団地発掘調査に伴う記録資料の整理・報告書作成を実施した。
思案橋遺跡発掘調査	思案橋遺跡の発掘調査を実施した。
精煉方跡発掘調査	精煉方跡の発掘調査を実施した。
嘉瀬川堤防発掘調査	嘉瀬川堤防建設工事に伴う発掘調査を実施した。 前年度調査分もあわせて記録資料の整理・報告書作成を実施した。
民間開発事業に伴う緊急発掘調査	緊急的に発生する小規模な民間開発事業に伴う整理・報告書作成を実施した。

##### ウ 世界遺産関連事業

平成27年7月8日に世界遺産一覧表に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・

製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つである史跡三重津海軍所跡については、市民に対して発掘調査成果等の情報発信や来訪者対策を行っていく。

## ② 文化財の保護と活用

### ア 文化財保護審議会を開催

文化財の保護や活用に関する重要事項について、佐賀市文化財保護審議会に諮って調査審議を行う。

### イ 文化財の指定

佐賀市域には、国・県・市による指定文化財が多数所在している。

市指定文化財については、市内に残る歴史遺産の調査を行い、その中から重要なものを選び、佐賀市文化財保護審議会へ諮って指定し、恒久的な保存を図っている。

### ウ 文化財の維持管理

指定文化財の所有者と協力しながら、維持管理に努めている。修理が必要な際には、佐賀市文化財保護条例に基づき、修理の一部を補助し、適切な保存を図っている。

埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物や寄贈された民具等に関しては、文化財資料館や富士文化財収蔵庫で保管している。また、市内に所在する指定された天然記念物の樹木については、より良い保存を図るため、樹勢調査を行っている。

### エ 肥前国庁跡の活用

平成 17 年度に整備・建設が完了した、肥前国庁跡歴史公園や国庁跡資料館の企画展や講座等によって歴史遺産の重要性を啓発し、文化財保護意識の高揚を図る。

### オ 東名遺跡の保存と活用

東名縄文館において東名遺跡から出土した遺物の展示を行っている。また、市内の小学 6 年生を対象に東名遺跡の発掘調査で実際に出土した遺物を活用した出前授業、体験学習として、小学生を対象とした貝輪づくりや一般対象の縄文編みかごワークショップを実施している。

東名遺跡を恒久的に保存・継承していくために、遺跡の価値を的確にわかりやすく表現した整備を計画的かつ継続的に行っていくことを目的とした整備基本計画を策定した。

### カ 歴史遺産の紹介

市内に所在する文化財について、その内容を各種講座で紹介している。

## (2) 伝統文化の継承

各地域で伝統的に行われている地域文化活動を支援し、伝統文化の継承者育成や保存に努める。

### ① 指定無形民俗文化財への支援

佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金により、国県市指定の無形民俗文化財への支援を行う。また、指定無形民俗文化財の映像記録を作成する佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会に対して補助を行った。

### ② 未指定文化財等への支援

地域文化保存・継承支援補助金により、地域が主体となって担っている未指定の文化財等への支援を行う。

佐賀市所在主要指定文化財一覧

(1) 佐賀市指定文化財 [121件]

令和2年4月1日現在

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要文化財	絵画	1 絹本淡彩金立神社縁起図一幅	金立神社	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和47年2月11日
	絵画	2 絹本着彩与賀神社縁起図一幅	与賀神社	与賀町2番50号	昭和53年3月1日
	絵画	3 (高伝寺所蔵) 大涅槃像一幅	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和59年3月26日
	建造物	4 神野のお茶屋	佐賀市	神園四丁目1番地	昭和42年2月11日
	建造物	5 武家屋敷の門一棟	佐賀地方検察庁	中ノ小路3番14号	昭和46年2月11日
	建造物	6 佐賀(龍造寺)八幡宮石造肥前鳥居一基	龍造寺八幡神社	白山一丁目3番2号	昭和47年2月11日
	建造物	7 御位牌所一字 附一、木造阿弥陀如来坐像一軀 二、御位牌二〇二盞分	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和49年2月11日
	建造物	8 鐘楼一棟	真覚寺	伊勢町6番22号	昭和50年2月11日
	建造物	9 勝宿神社本殿一棟	勝宿神社	久保泉町大字川久保4199番地	昭和52年2月11日
	建造物	10 武家屋敷の門一棟	佐賀市	水ヶ江二丁目8番13号	昭和54年3月1日
	建造物	11 伊勢神社の石造肥前鳥居及び肥前狛犬像一对	伊勢神社	伊勢町9番8号	昭和57年3月1日
	建造物	12 武家屋敷の門一棟	佐賀市	八幡小路4番10号	昭和58年3月1日
	建造物	13 旧古賀銀行及び旧古賀家二棟	佐賀市	柳町2番9号、同3番15号	平成7年3月22日
	建造物	14 旧牛島家一棟	佐賀市	柳町4番9号	平成7年10月23日
	建造物	15 旧福田家住宅一棟	佐賀市	松原四丁目3番15号	平成10年5月26日
	建造物	16 旧三省銀行(付属棟含む)一棟	佐賀市	柳町3番12号	平成11年5月25日
	建造物	17 旧佐賀城本丸御座間・堪忍所	佐賀県	城内二丁目18番1号	平成13年2月20日
	建造物	18 旧嬉野家の武家屋敷の門(薬医門一棟)	佐賀市	佐賀市松原二丁目29	平成27年6月15日
	工芸品	19 石造六地藏一基	個人	嘉瀬町大字萩野2514番1	昭和49年2月11日
	工芸品	20 本庄神社石燈籠一对	本庄神社	本庄町大字本庄1156番地	昭和50年2月11日
	工芸品	21 石造六地藏二基	東善寺	鍋島町大字森田2030番地	昭和50年2月11日
	工芸品	22 石造六地藏六観音像一基	坪の上天満宮	高木瀬町大字長瀬字坪の上	昭和52年2月11日
	考古資料	23 上和泉遺跡出土瓦塔	佐賀市	大和町大字久池井2754 (肥前国庁跡資料館)	平成16年3月23日
	古文書	24 長尾山年譜	長尾山福満寺	北川副町大字江上345番地	昭和43年2月11日
	古文書	25 末代念仏授手印	大覚寺	伊勢町14番5号	昭和45年2月11日
	古文書	26 有田家文書九〇通	個人	城内二丁目1番41号 佐賀県立図書館	昭和49年2月11日
	古文書	27 上林家文書一〇五六通	個人	呉服元町5番18号	昭和59年3月26日
	書跡	28 大興寺所蔵大般若経一括	大興寺	神野東三丁目10番3号	昭和57年3月1日
	書跡	29 島義勇の旅日記一卷	個人	本庄町大字本庄8番地	昭和47年2月11日
	書跡	30 副島種臣の書二幅	願正寺	呉服元町6番5号	平成5年3月31日
	彫刻	31 石造十六羅漢像並びに石造釈迦三尊像付石造駒形標柱一九軀 付一一基	岩松軒	木原一丁目12番10号	昭和48年2月11日
	彫刻	32 木造鍋島忠直坐像一軀	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和48年2月11日
	彫刻	33 石造十一面観世音菩薩立像一軀	個人	久保泉町大字川久保	昭和49年2月11日
	彫刻	34 銅造地藏菩薩立像一軀	西峰院地藏寺	多布施二丁目2番30号	昭和49年2月11日
	美術工芸	35 木彫毘沙門天立像	本行寺	西田代一丁目4番6号 本行寺	昭和43年2月11日
	美術工芸	36 鬼丸聖堂の聖像三体と天縦殿の額	鍋島報效会	松原二丁目5番22号	昭和45年2月11日
	美術工芸	37 不動明王立像一軀	清心院	大財二丁目4番5号	昭和46年2月11日
	歴史資料	38 多久安輝の墓誌	龍雲寺	八戸一丁目6番35号	昭和62年3月25日
	歴史資料	39 木造了意和尚像	静元寺	本庄町大字本庄799番地	平成5年3月31日
	歴史資料	40 木原隆忠の墓誌	大覚寺	伊勢町14番5号	平成5年3月31日
	歴史資料	41 赤松小学校の校務日誌(一括)	佐賀市教育委員会	中の館町1番39号 赤松小学校	平成7年10月23日
	歴史資料	42 石長寺中興記碑	石長寺	与賀町257-1	平成31年1月7日
	歴史資料	43 江里天満宮石造多宝塔	江里天満宮	鍋島町大字森田2273	平成31年1月7日

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要文化財	絵画	44 實相院絵画二幅	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	平成9年5月23日
	建造物	45 與止日女神社三ノ鳥居一基	與止日女神社	大和町大字川上1	昭和58年10月17日
	建造物	46 久留間六地藏一基	藏福寺	大和町大字久留間1224	昭和62年7月25日
	工芸品	47 (四天社) 石造四天王像立像四軀、石造宝篋印塔一基・石塔残欠一個	池上地区	大和町大字池上1501	平成9年5月23日
	考古資料	48 佐熊遺跡出土一括(鐔形土製品一個)	佐賀市	大和町大字尼寺1870	昭和62年7月25日
	考古資料	49 本村籠遺跡310号土墳墓出土遺物一括(青磁碗二個、土師器小皿四個、刀子一口)	佐賀市	大和町大字尼寺1870	平成2年5月30日
	考古資料	50 大願寺二本松遺跡出土一括(八花鏡一面、青銅製鉈尾)	佐賀市	大和町大字川上	平成3年5月29日
	考古資料	51 尼寺一本松遺跡甕棺墓出土遺物(一括)	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成29年3月13日
	彫刻	52 木造金剛力士像(仁王像)二軀	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	平成6年2月27日
	彫刻	53 春日山高城寺仏像五軀	高城寺	大和町大字久池井3625-1 高城禪寺	平成8年3月5日
	彫刻	54 實相院彫刻十二軀	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	平成9年5月23日
	彫刻	55 神變社仏像一軀	神變社	大和町大字久留間3420-1 神變社	平成9年5月23日
	彫刻	56 木造湛然梁重座像一軀	通天寺	大和町大字松瀬2142番地 通天寺	平成13年9月11日
	絵画	57 涅槃図一幅	東光寺	諸富町大字徳富1936番地 東光寺	昭和57年4月1日
	建造物	58 肥前鳥居	新北神社	諸富町大字為重1073番地 新北神社	昭和54年6月30日
	建造物	59 肥前鳥居一基	若宮神社	諸富町大字徳富1201番地 若宮神社	昭和54年6月30日
	工芸品	60 太田神社肥前狛犬一對	太田神社	諸富町大字大堂1663番地 太田神社	昭和57年4月1日
	工芸品	61 大黒天坐像	宝光院	諸富町大字大堂1363番地 宝光院	昭和57年4月1日
	工芸品	62 道祖神「なんじゃもんじゃさん」(一對)	安龍寺	諸富町大字為重1586番地口 安龍寺	昭和57年4月1日
	工芸品	63 銅造弁財天坐像	安龍寺	諸富町大字為重1586番地口 安龍寺	昭和57年4月1日
	工芸品	64 一石五輪塔	多聞院	諸富町大字為重873番地 多聞院	昭和57年4月1日
	工芸品	65 六地藏2基(一對)	多聞院	諸富町大字為重873番地 多聞院	昭和57年4月1日
	工芸品	66 天女絵柄半鐘一口	東光寺	諸富町大字徳富1936番地 東光寺	昭和57年4月1日
	彫刻	67 一木七仏薬師如来立像一軀	東光寺	諸富町大字徳富1936番地 東光寺	昭和57年4月1日
	彫刻	68 木造阿弥陀如来立像	光専寺	諸富町大字寺井津436番地 光専寺	昭和57年4月1日
	彫刻	69 木造不動明王坐像	宝光院	諸富町大字大堂1363番地 宝光院	昭和57年4月1日
彫刻	70 木造阿弥陀如来坐像	個人	諸富町大字大堂1141番地 土師公民館	昭和57年4月1日	
建造物	71 神代勝利公の墓一基(石造宝篋印塔)	宗源院	富士町大字関屋 宗源院墓地	平成10年5月27日	
彫刻	72 大串社(榎田神社)の肥前狛犬一對	大串社	富士町大字大串三本松 大串社	平成10年11月26日	
石造物	73 香椎神社肥前鳥居一基	香椎神社	久保田町大字徳万1550	平成14年1月21日	
重要無形文化財	1	ガラス工芸技術(宙吹き等)	個人	道祖元町106番地	平成5年3月31日
重要無形民俗文化財	1	小松の浮立	小松浮立保存会	蓮池町大字小松	昭和42年2月11日
	2	浮立玄蕃一流	掘江神社	神野西二丁目2番	昭和43年2月11日
	3	高木八幡ねじり浮立	高木八幡ねじり浮立保存会	高木瀬東二丁目12番8号 高木八幡宮	平成20年11月12日
	4	太田の浮立	諸富町無形文化財保存会	諸富町大字大堂1663番地の1	昭和63年3月1日
	5	海童神社奉納浮立	海童神社奉納浮立保存会	川副町大字犬井道	昭和56年12月15日
	6	松枝神社奉納浮立	松枝神社奉納浮立保存会	川副町大字大詫間	昭和56年12月15日
	7	東与賀銭太鼓	東与賀銭太鼓を育てる会	東与賀町大字田中	平成19年9月26日
	8	快万浮立	快万浮立保存会	久保田町快万	平成19年9月27日

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要有形民俗文化財	1	堀江神社神像群	堀江神社	城内一丁目15番23号佐賀県立博物館 (19. 8. 27)	昭和42年2月11日
	2	石造えびす坐像一躯	西の宮社	北川副町大字光法字角町	昭和44年2月11日
	3	木彫彩色婦人坐像（観世音胎内仏一躯）	慈音院	久保泉町大字川久保	昭和44年2月11日
	4	旧城下町の道標（1基）	長瀬町自治会	長瀬町5番54号地先	昭和46年2月11日
	5	木造河童像一躯	宗眼寺	蓮池町大字蓮池386番地1	昭和52年2月11日
	6	虫供養塔一基	個人	嘉瀬町大字扇町	昭和55年3月1日
	7	石造恵比須半跏像一躯	相応下自治会	西与賀町大字相応相応下	平成7年10月23日
	8	有蓋類形板碑（鳥獣供養塔）	杉神社	三瀬村杉神社	昭和49年8月22日
	9	六尊六地藏塔	詰瀬地区	三瀬村詰瀬	昭和49年8月22日
	10	鳥類供養塔	個人	川副町大字福富（米納津）	昭和63年5月14日
史跡	1	築地反射炉跡	鍋島報効会	長瀬町9番 日新小学校校庭	昭和42年2月11日
	2	葉隠発祥の地	佐賀市	金立町大字金立字黒土原	昭和42年2月11日
	3	鍋島直茂誕生地	鍋島報効会	本庄町大字本庄836番地2	昭和42年2月11日
	4	高伝寺墓所	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和42年2月11日
	5	龍造寺隆信誕生地	佐賀市	中の館町7番	昭和43年2月11日
	6	万部塔と六地藏	鍋島報効会	水ヶ江一丁目7番9号（万部島）	昭和43年2月11日
	7	金立神社上宮	金立神社	金立町大字金立	昭和48年2月11日
	8	初代肥前国忠吉の墓地	真覚寺	伊勢町6番22号 真覚寺	昭和48年2月11日
	9	鍋島家発祥の地 御館の森	彌久天満宮	鍋島町大字鍋島	昭和56年3月1日
	10	高麗人の墓碑・逆修碑	佐賀市	金立町大字金立3101番地	昭和60年12月12日
	11	乱斗山古墳群	松尾学園	金立町大字金立字六本黒木1544番地 353内	平成5年3月31日
	12	導善寺前方後古墳	池上地区	大和町大字池上1339-1他	昭和58年10月17日
	13	華藏庵跡	通天寺	大和町大字松瀬2988番地3	昭和62年7月25日
	14	肥前国分寺跡	宗龍寺	大和町大字尼寺958 宗龍寺	平成2年5月30日
	15	大野代官所	大野地区	富士町大字大野字一本松	平成14年6月24日
	16	燈堂	佐賀市	川副町大字犬井道4357番地6	昭和60年2月25日
	17	此荷大明神	佐賀市	川副町大字小々森254番地	昭和60年2月25日
天然記念物	1	国相寺の楠一株	国相寺	愛敬町4番54号	昭和44年2月11日
	2	牛島神社の楠一株	牛島神社	東佐賀町15番30号	昭和53年3月1日
	3	大小野の石楠花一株	個人	金立町大字金立字大小野	昭和54年3月1日
	4	高伝寺の梅一株	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和55年3月1日
	5	日枝神社の楠一株	日枝神社	木原一丁目8番35号	昭和58年3月1日
	6	浄円寺のイチョウ一株	浄円寺	金立町大字千布2336番地	平成7年3月22日
	7	新北神社ビャクシン	新北神社	諸富町大字為重1073番地 新北神社	昭和54年6月30日
	8	楠木No. 1	新北神社	諸富町大字為重1073番地 新北神社	昭和54年6月30日
	9	楠木No. 2	新北神社	諸富町大字為重1073番地 新北神社	昭和54年6月30日
	10	えの木No. 1	個人	個人宅	昭和54年6月30日
	11	大堂神社楠No. 1	大堂神社	諸富町大字大堂 大堂神社	昭和54年6月30日
	12	大堂神社楠No. 2	大堂神社	諸富町大字大堂 大堂神社	昭和54年6月30日

## (2)佐賀県指定文化財

[68件]

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要文化財	絵画	1 紙本着色福満寺古図一幅	福満寺	北川副町大字江上345番地	昭和51年2月25日
	絵画	2 釈迦・迦葉・阿難図 狩野探幽筆	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	平成9年5月9日
	絵画	3 山水図懐谷文晁筆十二面	個人	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成10年5月11日
	絵画	4 矢調べ岡田三郎助筆一面	佐賀県立美術館	城内一丁目15番23号 佐賀県立美術館	平成10年5月11日
	絵画	5 紙本着色龍造寺隆信像一幅	宗龍寺	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成7年5月26日
	絵画	6 マンドリンを持つ少女 百武兼行筆 一面	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成9年5月9日
	建造物	7 本庄神社石造肥前鳥居一基	本庄神社	本庄町大字本庄1156番地	昭和39年5月23日
	建造物	8 高伝寺釈迦堂	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	平成12年4月28日
	工芸品	9 短刀一口（肥前国住藤原忠広寛永八年八月日の銘あり）	佐嘉神社	松原二丁目10番	昭和42年4月22日
	工芸品	10 薙刀一口（銘 表 貞治元年十二月日、裏備前長船政光）	個人	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和51年2月25日
	工芸品	11 太刀 国行朱銘 1口	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和59年3月21日
	工芸品	12 太刀 来国光朱銘 1口	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和59年3月21日
	工芸品	13 刀 銘 肥前国住藤原忠広 寛永七年八月吉日 1口	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和48年4月23日
	工芸品	14 刀 長巻なおし 銘 正平十口肥州末貞	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和54年3月31日
	工芸品	15 色絵（流水文碗（台付）、瑠璃地桜花散らし文碗（台付））二組	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成13年2月28日
	歴史資料	16 蒸気車雛形 附貨車他 1台	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成17年3月30日
	歴史資料	17 蒸気船雛形（外輪船） 1隻	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成17年3月30日
	歴史資料	18 蒸気船雛形（スクリュー船） 1隻	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成17年3月30日
	工芸品	19 青漆塗萌黄系威二枚胴具足	鍋島報効会	松原二丁目5番23号 鍋島報効会	平成22年3月12日
	考古資料	20 関行丸古墳出土遺物	佐賀県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和48年4月23日
	考古資料	21 花納丸古墳出土遺物 附花納丸古墳出土遺物の記録	佐賀県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和56年3月16日
	考古資料	22 丸山遺跡一・二・六・七号墳石室四基及び出土遺物一括	佐賀市	（石室）金立町大字金立（遺物）城内一丁目15番23号	昭和59年3月21日
	考古資料	23 丸山遺跡三号墳舟形石棺	佐賀県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成3年3月30日
	考古資料	24 西原古墳出土石製表飾遺物一個	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成4年5月27日
	考古資料	25 鍋島本村南遺跡出土遺物一括 細形銅剣・細形銅戈・銅型・石製把頭飾 各一個	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成4年5月27日
	考古資料	26 増田遺跡甕棺墓出土多鈕細文鏡一面	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成13年2月28日
	古文書	27 泰長院文書一二巻一〇五通	泰長院	与賀町精	昭和59年3月21日
	古文書	28 正法寺文書	正法寺	城内二丁目1番41号 佐賀県立図書館	昭和61年3月19日
	古文書	29 深江家文書	個人	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和62年3月16日
	彫刻	30 大日如来坐像一軀	妙福寺	久保泉町大字川久保4365番地	平成20年3月14日
	書跡	31 正法寺所蔵大般若経一括	正法寺	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和49年2月25日
	書跡	32 紺紙金字法華経七巻	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	平成8年5月29日
	書跡	33 紺紙金字法華経七帖	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成8年5月29日
	書跡	34 紺紙銀字法華経八帖	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成10年5月11日
	絵画	35 絹本着色普賢延命菩薩騎象像一幅	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	昭和50年2月24日
	建造物	36 實相院仁王門一棟	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	昭和55年3月21日
	建造物	37 與止日女神社西門一棟	與止日女神社	大和町大字川上1番地1 與止日女神社	昭和61年3月19日
	工芸品	38 水上懸仏一面	水上地区	佐賀県立博物館（寄託）	昭和28年11月3日

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要文化財	工芸品	39 戒体箱（一合）及び説相箱（二口）・如意（一柄）	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	昭和49年2月25日 (追加：平成9年5月9日)
	工芸品	40 小袖地ドレス 1着	鍋島報效会	松原二丁目5番22号 鍋島報效会	平成31年4月26日
	考古資料	41 銅戈一口	個人	佐賀県立博物館(寄託)	昭和52年3月11日
	考古資料	42 西山田二本松遺跡2号住居跡出土銅釦一点	佐賀県教育委員会	佐賀市城内一丁目 佐賀県	昭和62年3月16日
	考古資料	43 惣座遺跡出土遺物一括 (銀製指輪、銅剣銅矛の鋳型、ガラス製小玉)(附)弥生土器一点	佐賀市	大和町大字尼寺1870 大和町	平成2年3月30日
	考古資料	44 本村籠遺跡出土遺物一括(多鈕細文鏡、 鉈、管玉、斧)(附)甕棺二基	佐賀市	大和町大字尼寺1870 大和町	平成5年3月31日
	考古資料	45 一本木遺跡出土湖州鏡 (附)鐻子、土師器杯・土師器皿	佐賀市	大和町大字尼寺1870 大和町	平成10年5月11日
	古文書	46 高城寺文書百通	高城寺	佐賀県立博物館(寄託)	昭和61年3月19日
	彫刻	47 無著妙融像一軀	玉林寺	大和町大字久池井3257 玉林寺	平成13年2月28日
	考古資料	48 十三塚遺跡出土鏡	佐賀県立博物館	佐賀県立博物館(寄託)	平成18年3月31日
	建造物	49 銅造明神鳥居 (寛永十七年二月十五日建)	大堂神社	諸富町大字大堂695番地 大堂神社	昭和46年6月23日
	考古資料	50 石塚一号墳出土遺物	佐賀市	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成8年5月29日
	彫刻	51 薬師如来立像	中原区	富士町大字中原 中原薬師堂	平成15年3月10日
	彫刻	52 木造阿弥陀如来坐像	三学寺	県立博物館(寄託)	昭和53年3月20日
	建造物	53 香椎神社四脚門	香椎神社	久保田町大字徳万1550	大正12年3月7日
	考古資料	54 牟田寄遺跡出土銅印	佐賀市	大和町大字久池井2754 (肥前国庁跡資料館)	平成24年4月27日
	考古資料	55 牟田寄遺跡出土土骨	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成24年4月27日
	考古資料	56 地蔵平遺跡出土石器47点	佐賀県	佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県教育委員会	平成25年4月30日
考古資料	57 佐賀市上高木出土銅銚	鍋島報效会	松原二丁目5番22号 鍋島報效会	昭和55年3月21日	
重要有形民俗文化財	1	大堂神社奉納北前型弁財船模型	県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成10年5月11日
	2	佐賀県内農耕生活用具 512点	佐賀県農業試験センター	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和52年3月11日
重要無形民俗文化財	1	三重の獅子舞	諸富町無形文化財保存会	諸富町大字為重三重 新北神社	昭和39年5月23日
	2	市川の天衝舞浮立	市川の天衝舞浮立保存会	富士町大字市川	昭和40年7月23日
史跡	1	関行丸古墳	個人	久保泉町大字川久保4097番地	昭和47年3月29日
	2	佐賀城跡	佐賀市	城内	平成13年2月28日
	3	船塚	国・佐賀市	大和町大字久留間字東	昭和28年11月3日
	4	大願寺廃寺跡	五社明神社	大和町大字川上字大願寺	昭和33年1月23日
	5	小隈山古墳	個人	大和町大字川上2691-1他	平成9年5月9日
天然記念物	1	佐嘉城址の楠(群)	佐賀県	城内	昭和28年11月3日
	2	与賀神社の楠一株	与賀神社	与賀町2番50号	昭和40年7月23日

## (3) 国指定文化財

[33件]

文化財の区分		番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
国宝	書跡	1	催馬楽譜	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	昭和27年11月22日
重要文化財	建造物	1	与賀神社楼門一棟	与賀神社	与賀町2番50号	昭和25年8月29日
	建造物	2	佐賀城鯨の門及び続櫓一棟	佐賀市	城内二丁目	昭和32年6月18日
	建造物	3	与賀神社三の鳥居及び石橋二基	与賀神社	与賀町2番50号	昭和45年6月17日
	工芸品	4	太刀一口銘康伝康光	与賀神社	与賀町2番50号	昭和25年8月29日
	考古資料	5	熊本山出土の舟形石棺とその一括遺物	佐賀市	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成元年6月12日
	古文書	6	深堀家文書三八六通	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	昭和56年7月2日
	古文書	7	松浦山代家文書	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	昭和56年7月2日
	書跡	8	紙本墨書東遊歌神楽歌	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	昭和9年1月30日
	彫刻	9	木造普賢延命菩薩騎象像一軀	龍田寺	久保泉町大字上和泉	昭和32年2月19日
	工芸品	10	銅鐘一口	健福寺	大和町大字川上3881 健福寺	昭和25年8月29日
重要文化財	工芸品	11	金銅製宝塔一基	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	平成9年6月30日
	考古資料	12	瓦経(築山経塚出土)二二九枚	佐賀市	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成11年6月7日
	古文書	13	河上神社文書二四七通	興止日女神社	佐賀県立図書館(寄託)	昭和55年6月6日
	彫刻	14	木造円鑑禪師座像一軀	高城寺	大和町大字久池井3625-1 高城寺	昭和25年8月29日
	建造物	15	旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)	佐賀市・大川市	諸富町大字諸富津	平成15年5月30日
	建造物	16	吉村家住宅	個人	富士町大字上無津呂字羽金	昭和49年2月5日
	建造物	17	山口家住宅	個人	川副町大字大詫間930番地	昭和49年2月5日
	工芸品	18	色絵山水竹鳥文輪花大皿 鍋島1枚 (附指定)色絵山水竹鳥文輪花大皿 景德鎮	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成25年6月19日
	工芸品	19	色絵椿文大皿 鍋島 二枚	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成30年10月31日
重要有形民俗文化財	1	有明海漁撈具 293点	佐賀県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和40年6月9日	
重要無形民俗文化財	1	白鬚神社の田楽	白鬚神社の田楽保存会	久保泉町大字川久保	平成12年12月27日	
	2	見島のカセドリ行事	加勢鳥保存会	蓮池町大字見島 熊野神社	平成15年2月20日	
史跡	1	帯隈山神籠石	佐賀市	久保泉町大字川久保	昭和26年6月9日	
	2	大隈重信旧宅	佐賀市	水ヶ江二丁目11番11号	昭和40年6月4日	
	3	西隈古墳	佐賀市	金立町大字金立2936番地5	昭和50年6月26日	
	4	銚子塚	佐賀市	金立町大字金立2355番地	昭和53年3月11日	
	5	肥前国庁跡	佐賀市	大和町大字久池井2738-2	平成元年9月22日	
	6	三重津海軍所跡	国・有明海漁協 佐賀市	川副町大字早津江 諸富町大字為重	平成25年3月27日	
	7	東名遺跡	佐賀市	金立町大字千布	平成28年10月3日	
天然記念物	1	カササギ生息地	佐賀県	佐賀平野一帯	大正12年3月7日	
	2	えひめあやめ自生南限地帯	佐賀市	久保泉町大字川久保	大正14年10月8日	
	3	下合瀬の大カツラ	佐賀市	富士町大字下合瀬字樋口	昭和37年5月16日	



(4) 国登録文化財 [5件]

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	登録年月日
登録有形文化財	建造物	1 徴古館	鍋島報效会	松原二丁目5番22号 鍋島報效会	平成9年11月5日
	建造物	2 野中島屋園	個人	材木一丁目82番	平成12年2月15日
	建造物	3 与賀神社本殿・幣殿・拝殿	与賀神社	佐賀市与賀町92番	平成25年6月21日
	建造物	4 旧百崎家住宅主屋	個人	佐賀市水ヶ江三丁目231	平成29年5月2日
	建造物	5 大隈重信記念館 一棟	佐賀市	佐賀市水ヶ江二丁目360-2	平成29年6月28日

(3) 市民文化活動の創造

① 文化連盟補助事業

市民文化祭等の文化連盟の活動を補助することで、市民が見て参加して、芸術文化に接する機会を増やすための支援を行い、市民生活の癒しや潤いに結びつけるための取り組みを行う。

② 自主文化事業費補助事業

公益財団法人佐賀市文化振興財団が実施する自主文化事業に対し補助を行うことにより、市民に芸術文化の鑑賞や体験の機会を提供し、地域文化の活性化と文化振興を図る。

令和元年度実績	自主文化事業数	20 企画：29 公演
	入場者総数	13,489 人

③ 市民芸術祭開催事業

「佐賀市民芸術祭」の開催を通して、佐賀市で活動する芸術団体・芸術家に発表の場を提供するとともに、市民が芸術を身近に感じ、親しむ機会を設け、全市が一体となった文化振興を図る。

令和元年度実績	入場者数	12,900 人
---------	------	----------

(4) 文化施設の運営・整備

① 文化会館及び東与賀文化ホールの施設改修

利用者の快適性と安全性の確保のため、施設の改修や老朽化した設備の更新等を行う。

② 文化会館管理運営委託事業

佐賀市の文化情報の発信基地として多様な文化事業を企画し、市民が文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、各種コンベンションの利用による広域的な人、物、情報交流を図ることを目的として佐賀市文化会館の管理運営及び文化事業の企画運営を委託する。  
(施設の詳細は後述)

③ 東与賀文化ホール管理運営委託事業

市民に文化芸術に親しむ機会と多様な文化活動を行う場を提供することを目的として、東与賀文化ホールの管理運営及び文化事業の企画運営を委託する。(施設の詳細は後述)

④ 山口亮一旧宅管理事業

江戸期の建築物といわれる、佐賀の美術界の振興に努めた山口亮一画伯の旧宅の保存・活用を図る。NPO法人に管理を委託し山口画伯の顕彰をはじめとする歴史・文化を題材としたイベント等を開催する。

## 8 佐賀市立東与賀文化ホール

※ 図書館東与賀館との複合施設

### (1) 管理運営（令和元年度）

（指定管理者） 公益財団法人 佐賀市文化振興財団  
職 員 数 事務局 2

### (2) 建物概要

所在地 佐賀市東与賀町大字下古賀 1228 番地 3 (Tel 45-3939)  
敷地面積 4,092.64 m<sup>2</sup>  
建築面積 2,869.74 m<sup>2</sup>  
構 造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造  
地上 2 階  
工 期 平成 7 年 5 月～平成 8 年 3 月  
総事業費 13 億 7,800 万円  
開 館 平成 8 年 5 月

#### ○ 文化ホール

収容人員 500 席（車椅子席 2）、親子室 4 席  
舞 台 間口 12m、高さ 6m、奥行 11.5m  
設 備 音響反射板、グランドピアノ 1 台、映写機 1 台  
楽 屋 2 室（和室）

#### ○ その 他

ホワイエ、ミーティング室

#### ○ 駐 車 場

平日：101 台、土日祝日：157 台

※他に身障者用 11 台、図書館専用 9 台有。東与賀支所と共用。

### (3) 令和元年度施設別利用状況

#### ○ 施設利用年度対比

（単位：％・人）

	平成 30 年度		令和元年度	
	利用率	人 数	利用率	人 数
ホ ー ル	69.39	32,149	68.02	30,778
ミーティング室	66.37	5,703	66.25	5,415
控 室	62.83	2,059	69.64	2,428
ホ ワ イ エ	38.67	17,494	33.22	17,847
合 計	58.99	57,405	59.27	56,468

## 9 佐賀市文化会館

### (1) 管理運営（令和元年度）

（指定管理者） 公益財団法人 佐賀市文化振興財団  
職 員 数 佐賀市文化会館 常務理事 1 事務局 8

### (2) 建物概要

- |      |  |
|------|--|
| 所在地  | 佐賀市日の出一丁目 21 番 10 号 (Tel 32-3000)            |
| 敷地面積 | 34,008.57 m <sup>2</sup>                     |
| 建築面積 | 9,702 m <sup>2</sup>                         |
| 構造   | 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造<br>地上 4 階、地下 1 階 |
| 工期   | 昭和 62 年 8 月～平成元年 7 月                         |
| 総事業費 | 76 億 4,000 万円                                |
| 開館   | 平成元年 10 月 1 日                                |
- 大ホール（音楽を主とした多目的ホール）

収容人員	1,811 席（固定席 1,806、車椅子席 5）
舞 台	間口 20m、高さ 10m、奥行 18m
設 備	オーケストラピット、小迫り、音響反射板、残響可変装置、 楽屋 5 室、幼児室、グランドピアノ 2 台
  - 中ホール（演劇を主とした多目的ホール）

収容人員	814 席（固定席 808、車椅子席 6）
舞 台	間口 16m、高さ 8m、奥行 18m
設 備	大迫り、小迫り、音響反射板、楽屋 4 室、幼児室、 グランドピアノ 2 台、映写機
  - イベントホール（調光、音調設備を有する多目的な平土間ホール）

収容人員	立席 500 人、椅子のみ 400 人、机・椅子 300 人
面 積	492 m <sup>2</sup>
  - リハーサル室 204 m<sup>2</sup>
  - 練 習 室 第 1 練習室 135 m<sup>2</sup>、第 2 練習室 97 m<sup>2</sup>、第 3 練習室 63 m<sup>2</sup>
  - 大会議室 205 m<sup>2</sup> 収容人員 130 人
  - 小会議室 56 m<sup>2</sup> 収容人員 20 人
  - 特別会議室 56 m<sup>2</sup> 収容人員 20 人
  - 和 室 30 畳 収容人員 30 人（机・椅子の場合）
  - 駐 車 場 普通車 500 台（身体障がい者用 7 台含む）
  - 喫茶・レストラン 80 席

### (3) 施設別利用状況（令和元年度）

#### ① 催物別利用状況

単位（件）

	大ホール	中ホール	イベント
音楽	78	33	5
講演・大会	44	64	71
演劇	18	20	2
舞踏・芸能	22	9	2
展示その他	1	10	72
合計	163	136	152

#### ② 施設利用率年度対比

単位（％）

	平成30年度	令和元年度
大ホール	81.98	82.79
中ホール	86.28	78.75
イベントホール	82.60	80.64
大会議室	92.21	88.05
小会議室	74.09	71.69
特別会議室	45.78	50.63
和室	48.79	48.73
リハーサル室	90.96	85.48
練習室 1	55.42	50.31
練習室 2	59.03	53.96
練習室 3	80.72	78.48
合計	72.36	69.91